公益財団法人可児市文化芸術振興財団・アニュアルレポート

KANI CITY ARTS FOUNDATION・ANNUAL REPORT

2025



公益財団法人 可児市文化芸術振興財団

公益財団法人可児市文化芸術振興財団
アニュアルレポート2025

も　く　じ

はじめに

アーラの進む道が見えてきた
Ⅰ　公益財団法人可児市文化芸術振興財団の概要
　１　役員名簿・・１
　２　組織体制・・２
　３　令和７年度決算状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
Ⅱ　可児市文化創造センター運営状況
　１　施設利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
　２　来館者実績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
　３　視察対応表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
Ⅲ　令和７年度事業報告
　１　事業一覧・・・１２
　２　鑑賞体験促進事業　事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
　３　まち元気・市民交流促進事業　事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
　４　共催事業　事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６２
　５　その他公益目的事業　事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６９
　６　新聞掲載記事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７０
　７　アーラフレンドシップ会員集計表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７２
Ⅳ　施設概要・・７３

はじめに

日ごろは、市民の皆様をはじめ関係各位には、可児市文化創造センター・アーラの活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

アーラでは、市民のたくさんの笑顔に寄り添える「えがおの劇場」づくりをめざして、行政や学校、企業、各種団体と連携しながら、「ala まち元気プロジェクト」を精力的に実施するとともに、令和7年度はその集大成として「まち元気 EXPO2025」を開催しました。

また、地区センターや学校との連携を特に強化し、市民との協働を進めながら、文化芸術が持つ社会包摂機能を最大限に生かして、人と人とのつながりと生きる活力の創出を図りました。

さらに、音楽や演劇、伝統芸能、映画など多分野に渡り、質の高い良質な文化芸術に触れる機会を市民の皆様に提供することで、文化芸術の力を通じて多くの笑顔と感動を共有できたことは、私たちにとって何よりの喜びであり、運営の原動力となっております。

この他にも、ここアーラでは多くの学生が学び・語り合う姿や、休日には子育て世代の親子、高齢者、学生、若者など本当にたくさんの市民の方々が、館内のロフトや練習室をはじめ広大な『水と緑の広場』で集い・学び・遊び・楽しんでいます。

こうした1年間の成果や運営状況などを本冊子にまとめましたので、ぜひご高覧いただき、ご意見、ご感想などお寄せいただければ幸いです。

昨今の世界情勢に目を向けますと、依然として先行き不透明な状況が続いています。こうした社会情勢を背景に、物価や人件費の高騰が続き、劇場経営の環境はこれまで以上に厳しい局面を迎えております。令和8年度から5年間、新たに指定管理者として指定を受けました。市民の皆様に愛される自慢の施設としてあり続けることができるよう、これまで以上に公益性を重視し、コスト削減や新たな収益機会の創出を図りながら、持続可能で安定した経営基盤の確立と運営体制の構築に全力を尽くしてまいりますので、今後も変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年8月

公益財団法人　可児市文化芸術振興財団
理事長　肥田　光久

アーラの進む道が見えてきた

可児市文化創造センター・アーラ館長　篭橋義朗

文化芸術施策を実践するにあたっての基本的な考え方やそれによって行われる事業については、短期間で劇的に変化させることはできません。文化芸術施策を享受する多くの市民の皆さまの意識が徐々になじんでいくような変化を期待しなければなりません。これまでのアーラのイメージとしては、質の高い芸術を紹介し、体験できること、社会包摂の考えのもとに芸術施策が届きにくい方々にも享受してもらいたいという文化芸術の社会性、という二つの方向を追求してきたと思っています。これはアーラの建設理念に沿ったものであります。しかし、少子高齢化による人口減少、分厚かった中間層の減少傾向が社会の流れとなってきていることを考えると、私たち文化芸術施策を実践する者としては知らないうちにエリート化しているかもしれないことを自戒しなければならないと思います。

効率化や、デジタル化が進む社会の中で、それでも私たちは、心の豊かさを醸成し人と人とのつながりを文化芸術の面からどのように実践していくかの「解」を求め続けなければならないと思います。

その前提で令和７年度を総括すると、「まち元気プロジェクト」の中で「リンクワーカー制度」が少しずつ動き始め、新しい市民参加が構築され始めたことは、喜ばしいことでした。さらに「みんなのディスコ」が多くの地域劇場に広がり始めたことは特筆すべきことでした。加えて、これまでのアーラのメイン事業であるalaCollectionシリーズ「ハハキのアミュレット」、大型市民ミュージカル「君といた夏」、「森山威男Jazz　Night」をはじめとする質の高い事業も盛大に開催することができました。改めて市民の皆さま及び全国の支援者、関係者の皆さまに感謝申し上げます。

Ⅰ　公益財団法人可児市文化芸術振興財団の概要

1 役員名簿

（令和8年3月31日現在）

［理事］

理事長	肥田　光久	可児市副市長
専務理事	篭橋　義朗	可児市文化創造センター館長
常務理事	各務　則行	可児市文化創造センター事務局長
理事	澤野　親司	元NPO法人alaクルーズ理事長
理事	髙島　勝	可児市ボランティア連絡協議会会長
理事	渡邉　明義	可児商工会議所会頭

［監事］

監事	星野　京子	元可児市教育委員
監事	渡邊　和幸	公認会計士

［評議員］

評議員	各務　眞弓	NPO法人可児市国際交流協会事務局長
評議員	糟谷　光昭	可児市自治連絡協議会会員
評議員	武井　祐子	可児交響楽団団長
評議員	谷口　公一	株式会社ケーブルテレビ可児代表取締役社長
評議員	玉置　浩司	可児市地区センター連絡協議会副会長
評議員	田牧　茂樹	元東濃信用金庫専務理事
評議員	津田　敬一	可児市民第九合唱団顧問
評議員	中垣としえ	可児市PTA連合会子育て委員長
評議員	成松　誠一	可児市文化協会会長
評議員	堀田　誠	可児市小中学校校長会長
評議員	堀部　好彦	可児市教育長
評議員	吉鷹　奈津子	ピアニスト

２　組織体制

（令和8年3月31日現在）

役員

理事会
- 理事長　肥田　光久
- 理事　5名

監事
- 監事　2名

評議員会

- 評議員 12名

事務局

館長　篭橋　義朗

事務局長　各務　則行

- 総務課長　酒井　宣規（3名）
  - 総務係長（酒井　宣規）：是枝　顕、橋本　加永子
- 創造事業課長　小川　省吾（10名）
  - 情報交流係長　渋谷　江厘：松浦　正和、舘林　史佳、髙野　美保、大澤　佳恵
  - 企画創造係長　澤村　潤：中尾　栄治、岩田　悠、半田　将仁
- 施設舞台課長　坂﨑　裕二（9名）
  - 施設係長（加藤　元基）：齋藤　英子、小谷　猛
  - 課長補佐兼 舞台技術係長　加藤　元基：吉田　敦、一野　寿、小平　定幸、戸﨑　遊歩、山﨑　昌伸

※（　　）は兼務

合計24名

各課の役割

総務課	人事、経理、契約、文書管理、規程類の管理、理事会・評議員会の事務、その他庶務
創造事業課	鑑賞型・創造型事業の実施、講座系事業の実施、アウトリーチの実施、市民の文化芸術活動支援 広報・宣伝（ホームページ・チラシ・ポスター・ala TIMES等）、チケット管理、アーラフレンドシップ会員管理、ブランディング、専門家育成、市民ボランティア組織育成・支援
施設舞台課	施設の維持管理、貸館、情報コーナーの管理 【舞台】舞台機構の管理・操作、自主事業における舞台監督 【照明】舞台照明設備の管理・操作、自主事業における照明プラン・オペレート 【音響】音響設備の管理・操作、自主事業における音響プラン・オペレート

3　令和７年度決算状況

貸借対照表

令和8年3月31日現在
（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資 産 の 部			
１．流動資産			
（１）現金預金			
現金預金	33,455,862	28,395,157	5,060,705
現金	1,379,230	1,111,420	267,810
普通預金	32,076,632	27,283,737	4,792,895
現金預金合計	33,455,862	28,395,157	5,060,705
（２）その他流動資産			
未収金	24,907,653	32,497,812	△ 7,590,159
前払金	1,004,848	655,578	349,270
仮払金	13,520,400	14,316,300	△ 795,900
商品	905,108	910,488	△ 5,380
その他流動資産合計	40,338,009	48,380,178	△ 8,042,169
流動資産合計	73,793,871	76,775,335	△ 2,981,464
２．固定資産			
（１）基本財産			
基本財産投資有価証券	90,340,091	60,272,491	30,067,600
基本財産積立預金	9,659,909	39,727,509	△ 30,067,600
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
（２）特定資産			
退職給付引当資産	19,165,795	22,644,530	△ 3,478,735
特定資産合計	19,165,795	22,644,530	△ 3,478,735
（３）その他固定資産			
車両運搬具	7,004,800	7,004,800	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 7,004,797	△ 6,554,238	△ 450,559
什器備品	5,314,903	4,067,400	1,247,503
什器備品減価償却累計額	△ 2,306,265	△ 1,870,710	△ 435,555
預託金	33,840	33,840	0
ソフトウェア	1,573,091	2,269,391	△ 696,300
その他固定資産合計	4,615,572	4,950,483	△ 334,911
固定資産合計	123,781,367	127,595,013	△ 3,813,646
資産合計	197,575,238	204,370,348	△ 6,795,110
Ⅱ 負 債 の 部			
１．流動負債			
未払金	36,990,552	45,473,030	△ 8,482,478
前受金	19,099,450	19,777,950	△ 678,500
預り金	2,153,794	1,216,637	937,157
仮受金	0	127,200	△ 127,200
短期借入金	30,000,000	0	30,000,000
流動負債合計	88,243,796	66,594,817	21,648,979
２．固定負債			
退職給付引当金	19,165,795	22,644,530	△ 3,478,735
固定負債合計	19,165,795	22,644,530	△ 3,478,735
負債合計	107,409,591	89,239,347	18,170,244
Ⅲ 正 味 財 産 の 部			
１．指定正味財産			
寄付金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
（うち基本財産への充当額）	100,000,000	100,000,000	0
２．一般正味財産	△ 9,834,353	15,131,001	△ 24,965,354
正味財産合計	90,165,647	115,131,001	△ 24,965,354
負債 及び 正味財産合計	197,575,238	204,370,348	△ 6,795,110

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1． 経常増減の部			
（1）経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	451,562	219,990	231,572
基本財産運用益計	451,562	219,990	231,572
事業収益			
入場料収益	45,750,800	47,946,300	△ 2,195,500
参加料等収益	526,000	603,700	△ 77,700
講座受講料収益	1,026,000	661,500	364,500
物品等販売収益	63,500	42,000	21,500
利用料金収益	38,145,435	39,866,425	△ 1,720,990
販売手数料収益	1,166,411	1,432,474	△ 266,063
公演事業収益	27,529,325	14,022,990	13,506,335
指定管理受託収益	438,000,000	438,000,000	0
文化振興事業受託収益	7,860,000	7,860,000	0
事業収益計	560,067,471	550,435,389	9,632,082
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	0	4,800,000	△ 4,800,000
受取その他公益団体等補助金	47,272,000	46,153,547	1,118,453
受取補助金等計	47,272,000	50,953,547	△ 3,681,547
受取負担金			
受取負担金	19,975,000	10,205,000	9,770,000
受取負担金計	19,975,000	10,205,000	9,770,000
受取寄付金			
受取その他寄付金	934,000	1,568,897	△ 634,897
受取寄付金計	934,000	1,568,897	△ 634,897
雑収益			
雑収益	2,669,396	5,271,523	△ 2,602,127
雑収益計	2,669,396	5,271,523	△ 2,602,127
経常収益計	631,369,429	618,654,346	12,715,083
（2）経常費用			
事業費			
給料手当	149,106,190	138,113,011	10,993,179
臨時雇賃金	6,377,891	4,422,163	1,955,728
福利厚生費	28,226,859	27,052,598	1,174,261
食料費	962,442	993,887	△ 31,445
旅費交通費	7,883,096	7,702,580	180,516
通信運搬費	4,383,757	3,462,170	921,587
減価償却費	1,450,499	1,848,487	△ 397,988
車両運搬具減価償却費	382,975	382,976	△ 1
什器備品減価償却費	426,928	820,295	△ 393,367
ソフトウェア償却	640,596	645,216	△ 4,620
消耗品費	4,664,099	7,765,887	△ 3,101,788
修繕費	3,088,847	4,116,007	△ 1,027,160
印刷製本費	9,404,695	9,092,087	312,608
燃料費	228,012	143,143	84,869
光熱水費	58,536,091	56,087,981	2,448,110
賃借料	18,728,797	14,404,808	4,323,989
保険料	1,019,020	973,862	45,158
諸謝金	12,605,504	11,575,996	1,029,508
租税公課	16,868,155	17,440,130	△ 571,975

支払負担金	1,757,730	9,826,355	△ 8,068,625
支払寄付金	96,020	242,306	△ 146,286
委託費	279,121,274	262,833,808	16,287,466
手数料	8,331,112	7,676,621	654,491
広告料	2,866,180	2,952,400	△ 86,220
雑費	499,000	709,489	△ 210,489
事業費計	616,205,270	589,435,776	26,769,494
管理費			
給料手当	13,200,755	15,595,890	△ 2,395,135
臨時雇賃金	554,599	491,351	63,248
退職給付費用	4,758,255	0	4,758,255
福利厚生費	2,454,509	3,005,845	△ 551,336
食料費	450	1,221	△ 771
旅費交通費	50,573	90,427	△ 39,854
通信運搬費	56,214	74,785	△ 18,571
減価償却費	160,412	205,975	△ 45,563
車両運搬具減価償却費	67,584	67,584	0
什器備品減価償却費	37,124	66,700	△ 29,576
ソフトウェア償却	55,704	71,691	△ 15,987
消耗品費	200,374	600,123	△ 399,749
修繕費	268,595	457,334	△ 188,739
印刷製本費	21,229	25,909	△ 4,680
燃料費	15,201	14,624	577
光熱水費	5,089,093	6,231,998	△ 1,142,905
賃借料	392,337	448,392	△ 56,055
保険料	61,690	80,442	△ 18,752
租税公課	1,532,449	2,002,670	△ 470,221
支払負担金	38,240	647,562	△ 609,322
委託費	14,641,131	18,563,610	△ 3,922,479
手数料	111,894	80,654	31,240
雑費	248	60	188
管理費計	43,608,248	48,618,872	△ 5,010,624
引当金繰入額			
退職給付引当金繰入額	△ 3,478,735	2,404,688	△ 5,883,423
引当金繰入額計	△ 3,478,735	2,404,688	△ 5,883,423
経常費用計	656,334,783	640,459,336	15,875,447
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 24,965,354	△ 21,804,990	△ 3,160,364
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 24,965,354	△ 21,804,990	△ 3,160,364
２．経常外増減の部			
（１）経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
（２）経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 24,965,354	△ 21,804,990	△ 3,160,364
当期一般正味財産増減額	△ 24,965,354	△ 21,804,990	△ 3,160,364
一般正味財産期首残高	15,131,001	36,935,991	△ 21,804,990
一般正味財産期末残高	△ 9,834,353	15,131,001	△ 24,965,354
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	90,165,647	115,131,001	△ 24,965,354

財産目録

令和8年3月31日現在
（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　　額
（流動資産）				
	現金	手元保管	通常釣銭他	1,379,230
	普通預金	東濃信用金庫／可児	運転資金として	32,076,632
	未収金	独立行政法人日本芸術文化振興会　他	令和７年度劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業補助金　他	24,907,653
	前払金	日本郵便（株）他	令和８年度委託契約用収入印紙　他	1,004,848
	仮払金	多治見税務署	消費税及び地方消費税中間申告	13,520,400
	商品	手元保管	販売用	905,108
流動資産合計				73,793,871
（固定資産）				
基本財産	基本財産投資有価証券	東濃信用金庫／可児	長期利付国債　他 公益目的保有財産であり、事業の財源として使用	90,340,091
	基本財産積立預金	東濃信用金庫／可児		9,659,909
特定資産	退職給付引当資産	東濃信用金庫／可児		19,165,795
その他固定資産	車両運搬具	手元保管	トヨタ：ハイエース スズキ：エブリィ トヨタ：エスティマ 公益・収益目的事業、管理運営共有財産である 使用割合　公益：収益：管理運営=78:7:15	7,004,800
	車両運搬具減価償却累計額			△ 7,004,797
	什器備品	手元保管	芝生、ゴムチップ舗装 他	5,314,903
	什器備品減価償却累計額			△ 2,306,265
	預託金	（公財）自動車リサイクル促進センター		33,840
	ソフトウェア	手元保管	給与システム、Vectorworks他	1,573,091
固定資産合計				123,781,367
資産合計				197,575,238
（流動負債）				
	未払金	中部電力(株)　他	電気料金３月分　他	36,990,552
	前受金	利用者　他	令和８年度施設利用料 他	19,099,450
	預り金	多治見税務署　他	３月支払報酬源泉所得税 他	2,153,794
	短期借入金	東濃信用金庫／可児	運営資金	30,000,000
流動負債合計				88,243,796
（固定負債）				
	退職給付引当金			19,165,795
固定負債合計				19,165,795
負債合計				107,409,591
正味財産				90,165,647

財務諸表に対する注記

公益財団法人可児市文化芸術振興財団

令和8年3月31日現在

1　重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法（定額法）によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、原価法であり、評価方法は最終仕入原価法で行っている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却方法は、定額法で行っている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金…全職員が期末に自己都合退職するとして仮定して算出した必要額から、独立行政法人勤労者退職金共済機構・中小企業退職金共済事業本部への掛金に基づき算出した退職金相当額を控除した残額に相当する額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が、借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

(6) 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2　基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。　（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産投資有価証券	60,272,491	30,117,200	49,600	90,340,091
基本財産積立預金	39,727,509	49,600	30,117,200	9,659,909
小計	100,000,000	30,166,800	30,166,800	100,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	22,644,530	0	3,478,735	19,165,795
小計	22,644,530	0	3,478,735	19,165,795
合計	122,644,530	30,166,800	33,645,535	119,165,795

3　基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。　（単位：円）

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
基本財産投資有価証券	90,340,091	90,340,091	0	0
基本財産積立預金	9,659,909	9,659,909	0	0
小計	100,000,000	100,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	19,165,795		0	19,165,795
小計	19,165,795		0	19,165,795
合計	119,165,795	100,000,000	0	19,165,795

４ 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、額面価格及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、額面価格及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価格	額面価格	評価損益
国債（第368回長期利付10年）	39,978,611	40,000,000	21,389
国債（第372回長期利付10年）	20,200,280	20,000,000	△200,280
国債（第372回長期利付10年）	30,091,200	30,000,000	△91,200
合計	90,270,091	90,000,000	△270,091

５　補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。　（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
受取その他公益団体等補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業))	(独)日本芸術文化振興会	－	44,274,000	44,274,000	－	一般正味財産
受取その他公益団体等補助金(第1回東海演奏家の架け橋基金)(地域の居場所における音楽ワークショップリーダー養成講座)	(公財)日本フィランソロピック財団	－	2,998,000	2,998,000	－	一般正味財産
負担金						
受取負担金(基本協定第36条　リスク分担　不可抗力・物価の変動)	可児市	－	19,100,000	19,100,000	－	一般正味財産
受取負担金(令和７年度「障がい者芸術振興事業」)(エイブル・アート展)	可児市	－	875,000	875,000	－	一般正味財産
合計		0	67,247,000	67,247,000	0	－

附属明細書

（１）基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載済みであり省略している。

（２）引当金の明細

財務諸表の注記に記載済みであり省略している。

Ⅱ　可児市文化創造センター運営状況

1　施設利用状況

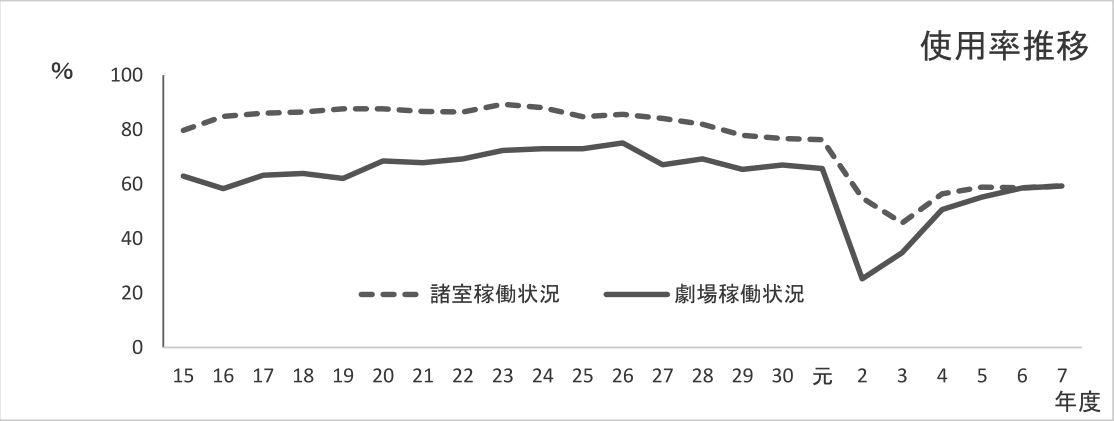
(1)諸室稼動状況　　(単位:日)

施　　設	令和6年度			令和7年度		
	使用日数	使用可能日数	使用率	使用日数	使用可能日数	使用率
主劇場(宇宙のホール)	153	276	55.4%	157	280	56.1%
小劇場(虹のホール)	169	274	61.7%	178	285	62.5%
音楽ロフト	207	302	68.5%	210	303	69.3%
演劇ロフト	220	305	72.1%	197	305	64.6%
美術ロフト	171	305	56.1%	177	305	58.0%
演劇練習室	247	305	81.0%	237	304	78.0%
音楽練習室1	193	306	63.1%	194	305	63.6%
音楽練習室2	68	306	22.2%	75	305	24.6%
音楽練習室3	133	306	43.5%	156	305	51.1%
映像シアター	104	302	34.4%	91	304	29.9%
ギャラリー	161	306	52.6%	182	305	59.7%
ワークショップルーム(洋室)	224	306	73.2%	248	305	81.3%
ワークショップルーム(和室)	224	306	73.2%	193	302	63.9%
レセプションホール	186	291	63.9%	208	305	68.2%
合計	2,460	4,196	58.6%	2,503	4,218	59.3%
利用料金収入	39,866,425円			38,145,435円		

※令和7年度利用料金収入は令和6年度前受金(15,385,450円)を加え、令和8年度利用分の前受金(13,813,450円)を除いて集計しています。

(2)劇場稼動状況　　(単位:日)

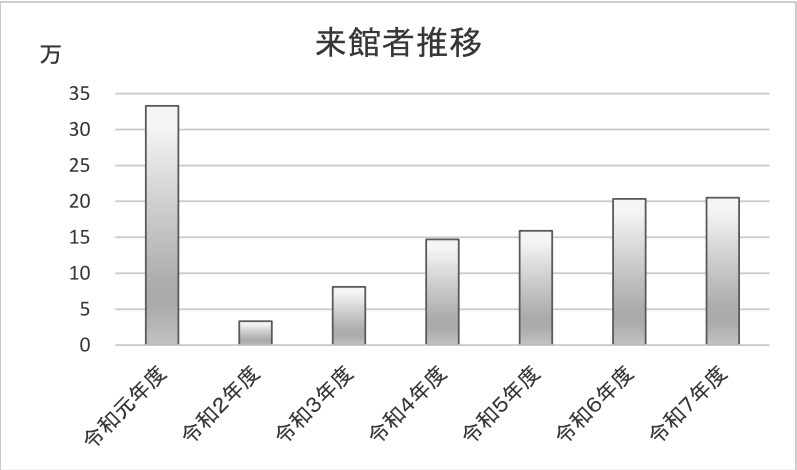
施　　設	令和6年度			令和7年度		
	使用日数	使用可能日数	使用率	使用日数	使用可能日数	使用率
主劇場(宇宙のホール)	153	276	55.4%	157	280	56.1%
小劇場(虹のホール)	169	274	61.7%	178	285	62.5%
劇場小計	322	550	58.5%	335	565	59.3%



2 来館者実績表

（単位：人）

月	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	同期増減率
	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
4月	15,813		4,642	6,650	8,246	8,040	7,544	93.83%
5月	17,127		4,320	7,258	10,379	13,577	12,457	91.75%
6月	23,103		4,268	9,433	11,219	11,809	10,856	91.93%
7月	25,436		6,981	13,869	12,443	16,192	18,741	115.74%
8月	26,844		9,847	11,301	9,619	28,714	11,341	39.50%
9月	25,337		0	7,989	10,723	11,243	9,558	85.01%
10月	54,025	4,469	5,891	11,046	13,801	22,531	26,340	116.91%
11月	59,411	8,925	14,492	23,525	19,014	19,918	23,896	119.97%
12月	27,404	5,386	6,845	10,616	11,644	10,998	15,648	142.28%
1月	20,257	2,647	9,248	19,684	23,920	23,703	27,957	117.95%
2月	34,938	3,553	4,396	13,034	12,445	21,631	21,358	98.74%
3月	3,267	8,256	10,137	12,702	15,637	15,136	19,477	128.68%
計	332,962	33,236	81,067	147,107	159,090	203,492	205,173	100.83%
月平均	27,747	5,539	6,756	12,259	13,258	16,958	17,098	



3 視察対応表

視察日	視察者	人数	視察内容
4月17日	日本共産党藤沢市議会議員団	4	視察
4月24日	高山市　総合政策課	5	施設見学
5月15日	舞鶴市議会　市民文教委員会	7	視察
5月21日	可児市立今渡南小学校5年生	135	施設見学
6月14日	(一財)道民活動振興センター	2	視察
7月24日～27日	(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団	1	視察
7月31日	群馬県地域創生課	5	視察
9月4日	可児市新規採用職員(半年研修)	21	施設見学
10月3日	(特非)可児市国際交流協会	9	視察
10月23日	帷子地区センター	20	施設見学
11月20日	帝京大学可児小学校2年生	32	施設見学
12月5日	豊田市産業文化センター	4	視察
1月28日	可児市立旭小学校	69	施設見学
合　　計		314	

Ⅲ　令和７年度事業報告

1　令和7年度　事業一覧

【公益目的事業会計-鑑賞体験促進事業(自主事業-公演）】

事　　業　　名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
音楽の絵本　CALYPSO	主劇場	908	843	92.8%	1,682,000	2,297,797	73.2%	15
文学座公演「もうひとりのわたしへ」	小劇場	536	412	76.9%	※3,189,718	4,047,956	78.8%	16
新日本フィルハーモニー交響楽団 サマー・コンサートwith小曽根真	主劇場	1,013	847	83.6%	※8,214,034	8,454,282	97.2%	17
かに寄席　納涼	主劇場	957	647	67.6%	2,045,600	2,000,881	102.2%	18
愛児協40周年記念合同公演 「対決！オドロ村の怪人～嗚呼、たそがれの少年探偵団～」	小劇場	273	148	54.2%	※1,049,614	1,705,630	61.5%	19
アフタフ・バーバン「ぐうちょっぱ劇場」	ﾚｾﾌﾟｼｮﾝﾎｰﾙ	200	109	54.5%	※840,353	1,037,695	81.0%	20
アフタフ・バーバン「ぐうちょっぱ劇場」 【幼稚園貸切公演】	市内幼稚園	―	476	―				
石田組コンサートツアー2025	主劇場	1,011	1,011	100.0%	5,320,600	3,444,578	154.5%	21
ミュージカル「クリスマス・キャロル」	主劇場	860	750	87.2%	4,367,600	7,402,620	59.0%	22
新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート2026	主劇場	1,014	980	96.6%	※9,144,936	8,444,586	108.3%	23
かに寄席　初席	主劇場	955	569	59.6%	1,779,600	1,760,411	101.1%	24
風間杜夫の名人会	小劇場	297	236	79.5%	658,500	732,789	89.9%	25
アーラ・キネマ倶楽部 アーラ映画祭2025	小劇場、映像シアター	3,540	1,909	53.9%	1,669,500	2,517,196	66.3%	26
計		11,564	8,937	77.3%	39,962,055	43,846,421	91.1%	

【公益目的事業会計-まち元気・市民交流促進事業(自主事業-展示)】

事　　業　　名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
エイブル・アート展	美術ﾛﾌﾄ	―	532	―	885,898	1,212,662	73.1%	27
計		―	532	―	885,898	1,212,662	73.1%	

【公益目的事業会計-まち元気・市民交流促進事業(自主事業)】

事　　業　　名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによるオープン・シアター・コンサート	主劇場	561	373	66.5%	※624,514	1,130,760	55.2%	28
アーラ未来の演奏家プロジェクト2025	美術ロフト他	―	延べ1,496人	―	※496,983	1,036,926	47.9%	29
アーラ未来の演奏家コンサート2025		224	224	100.0%				
多文化共生プロジェクト「RE：Home」	演劇ロフト	180	174	96.7%	※479,098	1,124,579	42.6%	30
森山威男ジャズナイト2025	主劇場	861	583	67.7%	※4,289,795	4,279,267	100.2%	31
ala Collection シリーズ vol.16 「ハハキのアミュレット」可児公演	小劇場	1,626	1,158	71.2%	※19,815,613	28,366,806	69.9%	32
ala Collection シリーズ vol.16 「ハハキのアミュレット」東京公演	吉祥寺ｼｱﾀｰ	1,190	1,190	100.0%	5,212,474	11,418,849	45.6%	33
ala Collection シリーズ vol.16 「ハハキのアミュレット」地方公演	全国4会館	2,835	1,620	57.1%	22,974,455	14,482,495	158.6%	34
シリーズ恋文 vol.15	小劇場	482	481	99.8%	3,460,607	2,976,882	116.2%	35
シリーズ恋文 vol.15　地方公演	長岡リリックホール他	848	725	85.5%	4,238,070	2,748,296	154.2%	36
市毛良枝の音楽と語りのひととき 「母へのまなざし」	小劇場	259	141	54.4%	※515,336	720,572	71.5%	37
市民ミュージカル『君といた夏』	主劇場	1,598	1,367	85.5%	※9,269,057	16,690,720	55.5%	38
歌舞伎とおしゃべりの会	映像シアター	386	317	82.1%	※708,637	815,218	86.9%	39
森山威男ドラム道場、公開セッション	音楽練習室他	―	道場延べ111人、公開セッション９６人	―	※1,285,342	2,071,516	62.0%	40

事　　業　　名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
おでかけ落語会	市内中学校	—	912	—	※157,725	363,029	43.4%	41
演劇ワークショップリーダー養成講座、学校ワークショップ	演劇ロフト他	—	370	—	※544,201	1,098,762	49.5%	42
劇場フロントスタッフ養成講座	音楽ロフト他	—	47	—	※272,820	1,091,625	25.0%	43
平田オリザの「対話を考える」モデル授業	ﾚｾﾌﾟｼｮﾝﾎｰﾙ	—	25	—	※69,075	159,000	43.4%	44
ala国際演劇サマースクール	演劇ロフト	—	5	—	※557,329	1,359,475	41.0%	45
みんなのディスコ2025	小劇場	—	302	—	※371,023	850,550	43.6%	46
まち元気EXPO	全館	—	2,031	—	※526,139	1,618,353	32.5%	47
あかちゃん親子のアーラであそぼ♪	ﾚｾﾌﾟｼｮﾝﾎｰﾙ	—	延べ216人	—	※598,010	1,207,237	49.5%	48
ココロとカラダの健康ひろば		—	延べ212人	—				
児童・生徒のためのココロとカラダワークショップ	市内小学校他	—	延べ1,660人	—	※3,042,457	3,509,784	86.7%	49
スマイリングワークショップ		—		—				
教員向けワークショップ	ﾚｾﾌﾟｼｮﾝﾎｰﾙ	—	25	—				
地域の居場所における音楽ワークショップラボ	音楽ロフト他	—	延べ443人	—	※2,998,000	2,628,838	114.0%	50
イチゴイチエフェス　in　KANI　2025	水と緑の広場　他	—	473	—	0	655,698	0.0%	51
アーラ・イルミネーション	水と緑の広場	—	145	—	111,959	1,247,374	9.0%	52
まち元気リンクワーカー養成講座	研修室他	—	延べ194人	—	※189,135	308,097	61.4%	53
アーラまち元気そうだん室	創造スタッフ室	—	相談者22組		※18,417	30,000	61.4%	54
劇場に関わる人のためのアーツマーケティング・ゼミ「あーとま塾2025」	音楽ロフト他	—	延べ101人	—	※404,978	990,016	40.9%	55
東日本大震災復興支援 能登半島地震被災者支援 祈りのコンサート2026 ～被災地へ届け、私たちは忘れない～	主劇場	963	365	37.9%	352,000	352,000	100.0%	56
可児市ジュニア音楽祭2025	主劇場	1,019	870	85.4%	1,248,000	708,342	176.2%	57
第44回可児市美術展	ﾛﾌﾄ､ｷﾞｬﾗﾘｰ他	—	出展数253点 集客数1,449人	—	2,931,500	2,516,584	116.5%	58
第33回可児市文芸祭	ギャラリー他	—	応募人数 4,418人	—	2,383,000	1,861,259	128.0%	59
アーラ紙芝居一座支援	市内各所	—	参加者14人 集客数70人	—	※5,972	21,426	27.9%	60
アーラまち元気部	市内各所	—	延べ186人	—	416,078	530,359	78.5%	61
計		—	—	—	90,567,799	110,970,694	81.6%	

【公益目的事業会計-共催事業等】

事　　業　　名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
ウィーンV.ルジェリウスピアノ三重奏団	小劇場	308	178	57.8%	57,915	71,368	81.1%	64
新日本フィルメンバーと仲間たち	小劇場	305	210	68.9%	73,170	59,758	122.4%	65
音楽家の集い	音楽ロフト、主劇場	864	458	53.0%	46,110	110,322	41.8%	66
可児常磐津教室 巴瑠の会 第十二回おさらい会	小劇場	311	104	33.4%	—	—	—	67
斎藤龍ピアノリサイタル	小劇場	311	249	80.1%	109,040	170,485	64.0%	68
計		2,099	1,199	57.1%	286,235	411,933	69.5%	

【公益目的事業会計-共通事業】

事　　業　　名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
広報宣伝事業	—	—	—	—	942,452	14,824,616	6.4%	69
事業制作共通事業	—	—	—	—	45,310	1,666,908	2.7%	—
計		—	—	—	987,762	16,491,524	6.0%	

【収益事業等会計-鑑賞体験促進事業(共催事業-公演)】

事　　業　　名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
松鯉・伯山親子会	主劇場	690	690	100.0%	443,760	0	—	62
矢野顕子　さとがえるコンサート2025	主劇場	880	559	63.5%	369,600	55,783	662.6%	63
計		880	559	63.5%	813,360	55,783	1458.1%	

【施設管理・貸館事業会計】

事　　業　　名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
施設管理・貸館事業	—	—	—	—	40,280,410	253,777,179	15.9%	—
情報コーナー整備事業	—	—	—	—	—	366,032	—	—
計		—	—	—	40,280,410	254,143,211	15.8%	

注）公益法人会計のための事業への按分前の収支である。

【法人会計】
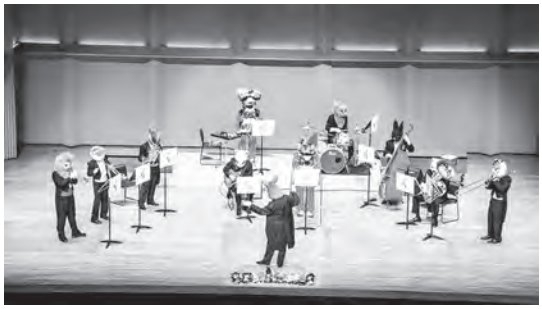
事　　業　　名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
財団運営管理事業	—	—	—	—	457,585,910	229,026,675	199.8%	—
文化芸術調査・研究事業	—	—	—	—	0	175,880	0.0%	—
計		—	—	—	457,585,910	229,202,555	199.6%	

注）公益法人会計のための事業への按分前の収支である。

合計	631,369,429	656,334,783	96.2%

注）※印の事業の収入には、（独）日本芸術文化振興会助成金（44,274,000円）、（公財）日本フィランソロピック財団補助金（2,998,000円）が含まれている。

事業名	音楽の絵本　CALYPSO（カリプソ）
目的	0歳から楽しめるクラシックコンサートで、親子が対等な立場でコンサートを楽しむことが目的。このコンサートの体験が、豊かな親子コミュニケーションを発展させていくきっかけとなることを目指す。
集客数	843人　席数　908　集客率　92.8%　会場　主劇場
開催日時	令和7年5月11日（日）14時開演
チケット	全席指定2,000円
出演者	ズーラシアンブラスセブン、たたきのトリ：スカーレット・アイリス、オコジョ、ジョン
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	親子で楽しめる本格的なクラシックコンサートを母の日に開催した。令和7年度はスティールパンなどを加えた編成で実施した。 【プログラム】 【第一部】アンダー・ザ・シー／交響曲第40番／玉葱の歌／リクエストコーナー／エビカニクス 【第二部】夕焼け小焼け／アロハ・オエ／パーカッション・ショータイム／天国のキッス／南の島のハメハメハ大王 【アンコール】シェリト・リンド 終演後には子どもたちにカーネーションを配布し、親子のコミュニケーションの機会を提供した。
経費状況	収入　1,682,000円　支出　2,297,797円　収益率　73.2%
アンケート結果	・音楽の絵本、いつも楽しみにしているので、また来てください。 ・今回、インフォメーションの近くに過去のズーラシアン公演の歴史が掲示してあってもしろく見させてもらいました。今、小6の子が1才台のときふらーっと当日入場できたのがきっかけですが、以後1回をのぞき毎年ズーラシアンのときは来てます。 ・小さな子も静かに聴いていて驚きました。また、ほぼ満席の人気にアーラ=ズーラシアンが根付いているように感じました。また来年もお願いします。
成果	ズーラシアン25周年という事で、広報誌の表紙と巻頭インタビューを掲載し、好評であった。ロビーには大看板を掲示するなど、鑑賞機運を大いに盛り上げ、前回を上回る集客となった。開場前のファンファーレや終演後の握手会、物販の行列など、大混雑はしたが、一定の秩序は保たれており、安定した活況を生み出している。



事業名	**文学座公演 「もうひとりのわたしへ」**
目的	平成20年にアーラと「地域拠点契約」を結び、今年で17年目を迎える文学座の作品を気軽に鑑賞できる機会を提供する。
集客数	412人　　席数　536　　集客率　76.9%　　会場　小劇場
開催日時	令和7年7月4日（金）18時30分開演 5日（土）14時開演
チケット	全席指定　一般　5,000円　　25歳以下　2,500円
出演者	高橋ひろし、郡山冬果、横田栄司、畑田麻衣子、山森大輔、吉野実紗、萩原亮介、宝意紗友莉、稲岡良純
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	人気脚本家・田村孝裕書下ろし新作を上演した。もうすぐ40歳になる既婚女性を主人公に、現代人が抱える悩みや問題を、SF的表現を用いて赤裸々に描く。文学座としては初めて、俳優が歌唱する形で劇中に本格的にラップを使用した。 作：田村孝裕　／　演出：五戸真理枝　／　音楽・ラップ指導：ALI-KICK
経費状況	収入　3,189,718円　　支出　4,047,956円　　収益率　78.8%
アンケート結果	・今までの文学座公演とは一風かわったラップ。これはこれでおもしろかったです。 ・文学座の公演で、ラップを採り入れたものは異色で良かった。アーラの年2回の演劇公演は外れなしで毎回満足！ ・今年はラップとは！振り幅が驚くほど広くてどうなるんだろうと思いましたが、見終わったらやっぱり文学座のお芝居だな、良かったなと思いました。やはり文学座の持つ底力なんじゃないでしょうか。
成果	SF的な設定、全面的に俳優がラップを歌唱するなど､先鋭的な内容だったが、概ね好評で、文学座の「常に現在的なものを求めて挑戦していく姿勢」を強く感じられた。単なる流行り廃りではなく、今、取り入れるべきもの、観ておくべきものが、大都市部の興行に頼ることなく担保出来ている状況が、文学座がアーラを地域拠点とすることで成り立っている。そういったことを、改めて確認することができた公演だった。



事業名	**新日本フィルハーモニー交響楽団 サマー・コンサート with 小曽根真**
目的	日本を代表するオーケストラの一つであり、アーラと地域拠点契約を結んでいる新日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートを開催することにより、市民が本格的クラシックに触れる機会を提供する。継続して新日本フィルによるコンサートを行うことで、新日本フィルというオーケストラ自体も身近な存在として親しみを持ってもらう。
集客数	847人　　席数　1,013　　集客率　83.6%　　会場　主劇場
開催日時	令和8年7月6日（日）16時開演
チケット	全席指定　一般　7,000円　　25歳以下　3,500円
出演者	指揮：熊倉優 管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団 ピアノ：小曽根真
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	地域拠点契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団によるコンサート。 ソリストにはジャンルを超えて活躍するピアニスト・小曽根真を迎えた。 【本公演】 【プログラム】 グリーグ：「ペール・ギュント」第1組曲、第2組曲 コープランド：市民のためのファンファーレ バーバー：弦楽のためのアダージョ ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー 【ソリストアンコール】My Witch's Blue 【関連企画】 リハーサル見学＆デザートセット 普段見ることができないオーケストラのリハーサルを見学後、館内レストランで特製のデザートとコーヒーを提供した。
経費状況	収入　8,214,034円　　支出　8,454,282円　　収益率　97.2%
アンケート結果	・プログラムのまとまりもよく、誰にでもわかりやすい内容であることに驚いた ・オーケストラを生で聴くのは初めてだったけど、とても迫力があり、美しかった。また聴きたい。 ・とてもすばらしかったです。弦楽のためのアダージョ、ラプソディ・イン・ブルーには涙がこぼれました。
成果	本格的なクラシック音楽を来場者に楽しんでいただくことができた。今回は特にジャズとクラシックの垣根を超えて活躍する小曽根真をソリストに迎えたことで、クラシックファンに限らず幅広い層に受け入れられる公演となり、集客数も目標を上回った。地域拠点契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団への親しみに加え、「聞いたことがある曲」「わかりやすい」選曲を心掛けることで、曲目にも親近感を感じていただくことができた。アンケート満足度も高く、生の音楽の感動を十分に伝えることができた公演になった。「リハーサル見学＆デザートセット」ではリハーサル見学だけでなく、小曽根真氏、熊倉優氏との記念撮影が実現し、特別な体験を提供することができた。 

事業名	かに寄席　納涼
目的	「楽しむ」をテーマとし、若者からお年寄りまで幅広く人気を集める落語を公演し、来場者に大いに笑いを楽しんで頂く。 また、『納涼』『初席』と2回開催し、恒例行事化することで、可児市やアーラへの親しみ、季節感が感じられる催しを目指す。
集客数	647人　　席数　957　　集客率　67.6%　　会場　主劇場
開催日時	令和7年7月13日（日）14時開演
チケット	全席指定　一般　4,000円　　25歳以下　2,000円
出演者	遊亭げん馬、桂九ノ一、林家つる子、三遊亭わん丈、三遊亭小遊三
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	【番組】 三遊亭げん馬：やかん 桂九ノ一：時うどん 林家つる子：紺屋高尾 三遊亭わん丈：孫の営業 三遊亭小遊三「蛙茶番」 【関連企画】 ・会場演出として前日からホワイエに「のぼり」を設置した。さらに、着物やゆかたの来場者に大入袋（銭洗い稲荷で洗った御浄銭入り）を進呈した。 ・アーラオリジナル手ぬぐいを製作し販売した。まち元気部も会場運営に参加し、賑やかな催しとなった。
経費状況	収入　2,045,600円　　支出　2,000,881円　　収益率　102.2%
アンケート結果	・大変面白かったです！暑さを忘れる！ ・かに寄席の小ホールでの開催も期待します。寄席がもっと身近に感じられると思います。 ・家から近いところで、貴重な体験や日頃触れないものを経験できたので面白かったです。
成果	笑点で人気の落語家、三遊亭小遊三をはじめ、人気の落語家の出演により、一般に広く興味を持っていただける公演が実施できた。また、上方落語を入れて東京の落語と両方を一度に楽しめる形としたことで、落語の話芸としての幅を体験できる内容が実現した。満席とはならなかったが、一階席はほぼ埋まり、落語会として十分な賑わいがあった。客席の反応も非常に良く、アーラの恒例行事として多くの市民の方に思い切り笑って楽しんでいただくことができた。 

事業名	**愛児協40周年記念合同公演 「対決！オドロ村の怪人～嗚呼、たそがれの少年探偵団～」**
目的	可児市民に質の高い舞台芸術作品の鑑賞機会を提供するのがアーラの重要なミッションの一つであるが、舞台芸術作品において、その作品の質の高さとともに、より深い鑑賞体験とするための環境づくりも考え、親子でより深い鑑賞体験を共有できる舞台作品を提供した。
集客数	148人　　席数　273　　集客率　54.2%　　会場　小劇場
開催日時	令和7年8月23日（土）14時開演
チケット	全席指定　一般　3,500円　　25歳以下　1,500円
出演者	愛児協加盟団体　まつもとぎんこ（演劇企画ポカラの会）、伊藤順一（演劇人冒険舎）、宮田智康、宮川希実、南村浩志、田中琴弓（以上 劇団うりんこ）、夏目みほ、松山理映、緋山輝（総合劇集団俳優館）、髙橋幸誠（人形劇団パン）、八幡美佳、辰巳博昭、髙木いわな（人形劇団むすび座）、岩本有里子（松岡伶子バレエ団）、Chang（ラストラーダカンパニー）、小林辰哉、木村勇介、石井郁也、櫻井汐里（和太鼓×マリンバGONNA）、青木沙也果、荻本美帆（セントラル愛知交響楽団）
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	愛知児童･青少年舞台芸術協会（愛児協）が結成40周年を記念して制作する大型作品で、江戸川乱歩の『怪人二十面相』を元に､佃典彦が書下ろし新作として脚本･演出を担当した。 独自企画として、公演後に舞台に登場した人物や劇伴の楽器に触れられるミニバックステージツアーを実施し、大変好評を得ることができた。
経費状況	収入　1,049,614円　　支出　1,705,630円　　収益率　61.5%
アンケート結果	・おもしろかったです。おやこ劇場の仲間と観られてよかったです。ありがとうございました。バックツアーよかったです。 ・子どもさんが多く参加していて、とても楽しかった。今までにない劇で、身も心もおどった。こんなのもいいなーと思った。また、お願いします。 ・音楽がすごくておもしろかった。 ・ドキドキ、ハラハラして面白くて、いっぱい笑いました。
成果	愛児協（愛知児童・青少年舞台芸術協会）が結成40周年を記念して製作した、親子向け舞台作品の公演。東海圏全6カ所の公演ツアー中、アーラのみの独自企画として、終演後の「ミニバックステージツアー」を実施し、大変好評を得ることができた。



事業名	**アフタフ・バーバン 「ぐうちょっぱ劇場」**
目的	劇というスタイルをとった表現活動により、登場人物たちと一緒に物語を表現する、参加型の鑑賞体験を通じて、子どもたちに舞台芸術の魅力を伝える。また市内の幼稚園と連携して貸切公演を実施することで、連携した鑑賞機会の定着化を図り、幼少期から優れた舞台芸術に触れ、自己肯定感や非認知能力を育む機会とする。
集客数	アーラ 109人 幼稚園 476人 **席数** アーラ 200人 **集客率** アーラ 54.5% **会場** レセプションホール 市内幼稚園
開催日時	アーラ：令和7年11月1日（土）10時30分開演、13時30分開演 ひめ幼稚園：令和7年10月29日（水） かわい幼稚園：令和7年10月30日（木） トキワ幼稚園：令和7年10月31日（金）
チケット	アーラ：全席自由　一般　1,000円　　6歳以下　500円　（3歳以下　無料） 幼稚園：全席無料
出演者	さとうりつこ、平川恭子、清水洋幸（アフタフ・バーバン）
事業内容	アフタフ・バーバンの参加型演劇作品『ぐぅちょっぱ劇場』を、アーラでの一般公演・貸切公演のほか、市内の幼稚園で出張公演を行なった。
経費状況	**収入**　840,353円　　**支出**　1,037,695円　　**収益率**　81.0%
アンケート結果	【幼稚園公演】 ・すぐ飽きてしまう子、多動傾向の子も本当によく集中していました。参加型の公演はやはりいいですね。こどもの食いつきが違います。（職員） ・園児含め、会場にいる全員と一緒になって作り上げる公演がとてもおもしろく魅力的でした。（保護者） 【一般公演】 ・演劇の面白さ、客席も巻き込む今回の公演、子どもも引き込まれていました。大人も笑って楽しかったです！
成果	公演を行なった幼稚園では、参加型演劇の経験がなかったが、公演後には大絶賛で、継続しての実施を望む声が多かった。初めての実施となる一般公演では幼稚園公演と全く様相が異なり、子どもが主体となりつつも、「大人（親）と一緒に楽しむ」という雰囲気がより強く出ていた。子どもは勿論、大人にとっても稀有な演劇体験になり、「人間の家」アーラらしい公演となった。 自園で出張公演を観た子が、親を誘って一般公演に来るというケースも複数あり、この演劇体験の素晴らしさを物語っている。



事業名	**石田組コンサートツアー 2025**
目的	神奈川フィルと京都市交響楽団のコンサートマスターを務める石田泰尚率いる弦楽合奏団「石田組」による初の可児公演。クラシックからプログレッシブ・ロックまで幅広いレパートリーを誇る同団の演奏で、クラシックファンのみならず新たな来場者の獲得を目指す。
集客数	1,011 人　　席数　1,011　　集客率　100.0%　　会場　主劇場
開催日時	令和 7 年 11 月 3 日（月・祝）14 時開演
チケット	全席指定　一般　6,000 円　　25 歳以下　3,000 円
出演者	《ソロ・ヴァイオリン》石田泰尚 佐久間聡一（Vn）、後藤康（Vn）、ビルマン聡平（Vn）、丹羽洋輔（Vn）、降旗貴雄（Vn）、木下雄介（Va）、鈴村大樹（Va）、古屋聡見（Va）、西谷牧人（Vc）、弘田徹（Vc）、大宮理人（Vc）、米長幸一（Cb）
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	【プログラム】 エルガー／弦楽セレナード ホ短調 op.20、チャイコフスキー／弦楽セレナード ハ長調 op.48、バーバー／弦楽のためのアダージョ、ピアソラ／アディオス・ノニーノ、ピアソラ／リベルタンゴ、クイーン／輝ける 7 つの海、クイーン／ボヘミアン・ラプソディ、クイーン／ボーン・トゥ・ラブ・ユー 【アンコール】 マクブルーム／ローズ、ビゼー／ファランドール、ディープパープル／紫の炎
経費状況	収入　5,320,600 円　　支出　3,444,578 円　　収益率　154.5%
アンケート結果	・アンコールも最高！しびれたよー！良かった！！心おどった！！ ・石田組は、これまで聴いた中で、最高の演奏で感動しました。来年も是非聴きたいです。 ・清々しく心地よい音色で魅了されました。いつも有名な方や一流の演奏がきけて幸せです。 ・とてもはくりょくがあってかっこよかったです。
成果	現在、飛ぶ鳥も落とす勢いの「石田組」の初岐阜県内公演とあって、発売初日 30 分ほどで完売となった。評判通りに演奏が素晴らしかったことはもちろん、メンバーにはアーラと縁のある新日本フィルのビルマン聡平氏もいたことから、公演は大変盛り上がった。後半は洋楽ロックのカバーが続いたこともあり、会場内は熱気に包まれ、最後はスタンディングオベーションが巻き起こった。また、カーテンコールでは、前方でバイオリンケースを持って鑑賞していた小学生くらいの少年を石田氏が招き寄せ、着用していたＴシャツプレゼントのサプライズ。その後も楽屋外、駐車場へ見送りに来た同少年に話しかけ、一緒に記念撮影という心温まるエピソードもあった（因みに、その少年は、翌週に主劇場での発表会に出ていた）。人気絶頂にありながら、地元横浜では積極的に後進の育成にもあたっている石田氏らしさが伺えた。 

事業名	ミュージカル「クリスマス・キャロル」

目的	家族で劇場に足を運ぶ機会を提供し、観劇の楽しさを味わっていただくとともに、馴染みのある演目を、季節感も併せて提供する。

集客数	750人	席数 860	集客率 87.2%	会場 主劇場
開催日時	令和7年12月20日（土）14時開演			
チケット	全席指定　一般　7,000円　　25歳以下　3,500円			
出演者	吉田栄作、土屋アンナ、吉田要士　ほか			
市民参加	フロントスタッフ			

事業内容	イギリスの文豪チャールズ・ディケンズの小説『クリスマス・キャロル』をオリジナル・ミュージカル化。今回は全国13カ所を回るツアー公演の1つとしてアーラで実施した。ツアーの全国広報に合わせて、可児でも独自の宣伝を行った。

経費状況	収入 4,367,600円	支出 7,402,620円	収益率 59.0%

アンケート結果	・演出、歌声、内容すべて素晴らしかったです！！ ・アーラでこんな本格的なミュージカルが観られて最高に幸せです！ ・演技力のあるキャスティングで時間を忘れるほどの大変感動的なミュージカルでした。

成果	「あしながおじさんプロジェクト」での観劇申し込みも目立って多く、対象となる中高生にとっては主演二人は世代ではないことから、ミュージカル自体の人気の現れと思われる。実際、アーラでは商業ミュージカルは全く行われてこなかったため、アンケートにも「初めてミュージカルを観れて良かった」という趣旨の意見が目立った。また、企画製作元から大規模な全国ツアー公演事業のノウハウを学べる機会もあり、公演料は高額だったが、結果的に得るものも多い公演となった。



事業名	**新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート 2026**
目的	日本を代表するオーケストラの一つであり、アーラと地域拠点契約を結んでいる新日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートを開催することにより、市民が本格的クラシックに触れる機会を提供する。継続して新日本フィルによるコンサートを行うことで、新日本フィルというオーケストラ自体も身近な存在として親しみを持ってもらう。
集客数	980 人　　席数　1,014　　集客率　96.6%　　会場　主劇場
開催日時	令和 8 年 1 月 12 日（月・祝）16 時開演
チケット	全席指定　一般　7,000 円　　25 歳以下　3,500 円
出演者	指揮：広上淳一 司会：田添菜穂子 管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	【プログラム】 チャイコフスキー／「眠りの森の美女」「白鳥の湖」「くるみ割り人形」より Ｊ.シュトラウスⅡ／「こうもり」序曲 Ｊ.シュトラウスⅡ／ポルカ「雷鳴と電光」 【アンコール】ヨハン・シュトラウス1世／ラデツキー行進曲 【関連企画】 リハーサル見学＆デザートセット 普段見ることができないオーケストラのリハーサルを見学後、館内レストランで特製のデザートとコーヒーを提供した。
経費状況	収入　9,144,936 円　　支出　8,444,586 円　　収益率　108.3%
アンケート結果	・毎年、ニューイヤーコンサートの公演は年明けを華やかな気持ちでスタートさせてもらえます。今回も座席にバースディプレゼントが置いてあって、ますますうきうきした気分にしていただけました。お隣の席の方とも会話のきっかけとなったりして、とてもうれしかったです。ありがとうございました。新日本フィルの演奏、指揮者の広上氏にぐいぐいひきこまれました。（60代・女性） ・はくりょくまんてんでたのしかったです。かっこよかったです。またききたいです♪
成果	入場者数も多く、アンケートにおいても 95％の来場者から肯定的評価を獲得した。広上淳一氏の親しみやすいトークと躍動感ある指揮、誰もが楽しめるバレエ音楽等の選曲が観客の心を捉え、「新春にふさわしく元気をもらえた」との声が多数寄せられた。また、座席へのバースデーサプライズなど独自の演出も好評だった。市外からの来場者が過半数（52%）を占めるなど、アーラの広域的な集客力を実証するとともに、質の高い芸術鑑賞機会の創出という事業目標を十二分に達成したと言える。 

事業名	かに寄席　初席
目的	「楽しむ」をテーマとし、若者からお年寄りまで幅広く人気を集める落語を公演し、来場者に大いに笑いを楽しんで頂く。 また、『納涼』『初席』と2回開催し、恒例行事化することで、可児市やアーラへの親しみ、季節感が感じられる催しを目指す。
集客数	569人　　席数　955　　集客率　59.6%　　会場　主劇場
開催日時	令和8年1月17日（土）14時開演
チケット	全席指定　一般　4,000円　　25歳以下　2,000円
出演者	柳家権太楼、柳家三三、瀧川鯉八、玉川太福（浪曲）、柳家福太楼
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	【番組】 柳家福太楼：新聞記事 瀧川鯉八：並べ師の涙 柳家三三：真田小僧 玉川太福：浪曲「男はつらいよ 寅次郎頑張れ！」 柳家権太楼：二番煎じ 【関連企画】 ・会場演出として前日からホワイエに「のぼり」を設置した。 ・アーラオリジナル手ぬぐいを製作し、販売した。 ・着物での来場者に記念品進呈、アンケート回答者に抽選で出演者サイン色紙プレゼント、住吉宮太鼓保存会にご協力いただき、宮太鼓演奏を行った。
経費状況	収入　1,779,600円　　支出　1,760,411円　　収益率　101.1%
アンケート結果	・スタッフさんが一丸となって、落語会を良きものにしたいとい気持ちが伝わってきました。楽しく過ごせました。 ・今回は何とか仕事をずらして来ました！こんな豪華なラインナップないですよ！次回からも参加したいと思います。 ・1時間半かけて通うのが楽しいです。ぜひ長く続けてください。始まりの太鼓も素敵でした。
成果	柳家権太楼をはじめ、名人や人気落語家を顔つけしたことで、バラエティ豊かな番組を実施することができた。また、浪曲を入れて落語以外の番組も楽しめる形としたことで、より寄席に近い話芸の幅を体験できる内容とすることができ、出演者それぞれの力を尽くした質の高い話芸が展開された。客席の反応も非常に良く、アーラの恒例行事として多くの市民に期待されている公演であることを感じた。新年の初笑いとして、思い切り笑って楽しんでいただくことができた。



事業名	**古典落語とトークで味わう 風間杜夫の名人会**
目的	可児市民に質の高い舞台芸術の鑑賞の機会を提供することにより、可児市民の芸術活動を刺激し、可児市文化創造センターの利用者の発掘、鑑賞者の育成、芸術活動へのきっかけとなることを目的とする。
集客数	236人　　席数　297　　集客率　79.5%　　会場　小劇場
開催日時	令和8年3月14日（土）14時開演
チケット	全席指定　一般　3,500円　　25歳以下　1,750円
出演者	風間杜夫、三遊亭歌武蔵、三遊亭歌ん太　　司会：麻生知紗
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	「名人会」としては第4回目。 俳優の風間杜夫による落語会を開催した。ゲストは三遊亭歌武蔵。前座として三遊亭歌ん太（歌武蔵門下）。 【プログラム】 スペシャルトークショー（風間杜夫、三遊亭歌武蔵、麻生知紗） 【落語】三遊亭歌ん太：牛ほめ 三遊亭歌武蔵：稲川 風間杜夫：居残り佐平次
経費状況	収入　658,500円　　支出　732,789円　　収益率　89.9%
アンケート結果	・風間さんの長年のファンです。こちらでの寄席をきっかけに、他の方々の落語を聞くようになりました。風間さん＋誰かというのがとてもいいです。これらかもぜひ続けて下さい。 ・風間さんが観たくて来ますが、いつも違った落語家さんのお話が聞けて楽しいです。これからも楽しみにしています。 ・初めて参加しましたが非常に楽しかったです。
成果	人手不足で中々地方へ来てくれない前座さんを、ゲストの歌武蔵師匠がお弟子さんから手配して頂き、落語会として活況を呈することができた。前座無しでトークから始まる、あまり他に無い形でやって来た本会ではあるが、若い前座さんが入る事で、会全体が若やいだように見えた。また、歌武蔵師匠は高座はもちろんトークも達者で、司会者も「話題を広げてくれて、とてもやり易かった」と言うように、最初のトークから、会はとても盛り上がり、最後まで良い雰囲気に満ちた会場であった。



事業名	**アーラ・キネマ倶楽部** **アーラ映画祭 2025**
目的	映画館のない可児において、多様な映画鑑賞機会を提供し、映画を通した人のつながりをつくる。映画を通して多様な人が交流し、新しい価値に出会えるコミュニティを形成する。
集客数	1,909 人　　席数　3,540　　集客率　53.9%　　会場　小劇場、映像シアター
開催日時	通年（事業内容参照）
チケット	キネマ倶楽部、映画祭　全席指定　一般　1,000 円　　25 歳以下　500 円　（7/26 のみ入場無料） 名作映画鑑賞会　全席指定　500 円
市民参加	市民有志による実行委員
事業内容	市民有志「アーラ映画部」が企画・運営主体となり、映画鑑賞の機会と交流の場を提供する事業。 【アーラ映画祭】「PERFECT　DAYS」11月14日（金） 「大いなる不在」11月14日（金） 「カラフルな魔女」11月15日（土） 「侍タイムスリッパ―」11月15日（土） 「はたらく細胞」11月16日（日） 「ぼくのお日さま」11月16日（日） 【キネマ倶楽部】「コット・はじまりの夏」5月18日（日）、19日（月） 「目の見えない白鳥さん・アートを見にいく」7月26日（土） 「型破りな教室」9月7日（日）、8日（月） 「本日公休」3月15日（日）、16日（月） 【名作映画観賞会】「がんばっていきまっしょい」1月25日（日） 「キツツキと雨」1月25日（日） 「Shall　ws　ﾀﾞﾝｽ？」1月26日（月） 「死に花」1月26日（月）
経費状況	収入　1,669,500 円　　支出　2,517,196 円　　収益率　66.3%
アンケート結果	アンケートでは企画内容への高い評価が多数寄せられた。 ・いつも『これ見たかった！』と思う映画がチョイスされている。近隣（土岐）に映画館ができても、活動をやめないで続けてほしい」 ・関や多治見ではかからない良質な映画が観られる」
成果	「多様な人が鑑賞し交流できる機会を創出する」という目的を高く達成した。映画祭の成功に加え、キネマ倶楽部等の定期開催により、年間を通じた継続的なコミュニティ形成が実現した。アンケートでは「人生について深く考えさせられた」「可児にいながら良い作品が観られる」など、深い感動の声が多く寄せられ、市民の日常的な居場所（サードプレイス）として定着している。映画部員の主体的な企画・運営も、市民協働事業の確かな実績となった。



事業名	エイブル・アート展 生活へのまなざし
目的	障がいのある人の可能性（エイブル＝ able）に注目した展覧会を実施。テーマに沿って選ばれた全国の障がいを持つアーティスト達による、魅力的なアート作品を展示する。ありのままの個性をキャンバスに描き出した唯一無二の世界を提示することで、見る人に感動を与え、障がい者への理解を深めると共に、多様性のあるまちづくりに寄与するものとする。また、市内支援学級児童･生徒の作品を同時展示することで身近な存在としてのアートを実感できる空間づくりとする。

集客数	532 人	席数	－	集客率	－	会場	美術ロフト
開催日時	令和 7 年 7 月 12 日（土）～ 7 月 20 日（日）10 時～ 19 時　※休館日除く						
チケット	入場無料						

事業内容	17 年目の開催となった。生活とアートをテーマに、暮らしの中での出来事や身の周りにある題材を基にした作品を展示した。また、市内支援学級児童・生徒による作品も一部展示した。企画：（一財）たんぽぽの家 ／（社福）わたぼうしの会 会場入り口にてエイブル・アートグッズを扱うミュージアムショップを営業した。

経費状況	収入	885,898 円	支出	1,212,662 円	収益率　73.1%

アンケート結果	・作り手さんのことについて、キャプションが丁寧に作られていて大変良かった。 ・どの作品もカラフルで素敵だと思いました。デイケアで働いているので、皆が何かできるものはないかと刺激を受けました。 ・支援学級児童作品も額装展示されるとより素敵に見えて自信になると思います。 ・どの作品も目をひきつけて離しません。まなざしや思い、拘りが伝わってきます。

成果	来場者の満足度は高く、展覧会のリピーターも多い。（アンケート集計で 40%） 写真撮影 OK の展覧会であったので、それぞれにお気に入りを撮影できたことは、来場者にとっては思い出となり、知り合いへのクチコミへも繋がった。 例年実施の可児市内支援学級児童・生徒作品を 10 作品展示したが、これを目的に来場くださる方もおり、展覧会がより身近なものに感じられるものであった。



事業名	**新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる オープン・シアター・コンサート**
目的	障がい者や乳幼児とその家族など、普段劇場に足を運ぶのが難しい人たちでも来やすいコンサートとし、多様な市民が一流の演奏を楽しめる機会を作る。特に障がい者は施設や学校等、特定の場所以外に出かけることが難しく、社会的に孤立しがちなため劇場が一つの居場所となり、また社会との接点の一つとなることで社会包摂機能を持つ地域劇場としての使命を果たす。
集客数	373人　　席数　561　　集客率　66.5%　　会場　主劇場
開催日時	令和7年5月29日（木）　10時30分開演
チケット	全席指定　500円　　前列のびのび鑑賞席 自由席　500円
出演者	新日本フィルハーモニー交響楽団 澤田和慶／塩澤菜美／古日山倫世／田村直貴（Vn1）　田村安紗美／今高友香／中川富美子（Vn2）　森野 開／濵本実加（Va）　佐古健一／矢野晶子（Vc）　黒岩 哲（Cb）
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	障がい者や乳幼児を持つ家族など、普段劇場に足を運ぶのが難しい人たちでも来やすいクラシックコンサートを開催した。車いす席を増やしたり、寝ころんだまま鑑賞できる席をつくるなど会場のレイアウトを工夫し、ホールで音楽を楽しめる機会を提供した。 【プログラム】クライスラー：愛の喜び／モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第一楽章・第四楽章／チャイコフスキー：弦楽セレナーデより第二楽章「ワルツ」／アンダーソン：ワルツィング・キャット、プリンク・プランク・プルンク／久石譲：映画『となりのトトロ』より、映画『アナと雪の女王』より「Let It Go」、映画『美女と野獣』、バルトーク：ルーマニア民謡 【アンコール】『崖の上のポニョ』
経費状況	収入　624,514円　　支出　1,130,760円　　収益率　55.2%
アンケート結果	・静まり返って聞くコンサートと違って、これも又楽しい。音楽に色んな声が入り、色んな動きをしている観客がいていい。 ・クラシックが大好きなのですが、知的障がい故、コンサートに連れて行くのは難しい息子にとって貴重な機会です。ありがとうございます！！またの開催、よろしくお願いします。 ・子どもが動いても、みなさん温かい目で見て下さり、こちらも席に座っていられなくてもたのしむことができました！
成果	団体参加は15団体156名にのぼり、施設に通う障がい者や高齢者の参加は昨年に引き続き多く見られた。また、乳幼児とその家族の参加も多く、のびのびシートが完売となるなど、普段劇場に足を運ぶことが難しい多様な市民が参加する公演となった。新日本フィル交響楽団の協力により演奏水準の高い公演を実現するとともに、これまでのノウハウを活かし、親しみやすいアニメ曲等を取り入れた選曲で、リズムに乗りやすく、楽しさを重視した内容とした。継続的に参加する団体が増えている結果とも捉えられる。本公演はアーラの事業の中でも特色ある公演であり、社会包摂型の経営方針を掲げる公共ホールとして、成果の大きい公演である。受付や舞台の工夫も奏功し、全体を通してスムーズな観劇体験を提供することができ、来場者に楽しんでいただくことができた。 

事業名	アーラ未来の演奏家プロジェクト 2025
目的	若手演奏家が市民と直接交流し、演奏家の人柄を知りながら身近に音楽を体験することにより、音楽の持つ魅力を広げる。5日間、3日間という可児滞在期間中に様々なコミュニティプログラムを展開することで、演奏家が可児市に思い入れが芽生えつつ技術研鑽の時間となることを目的とする。
集客数	公開リハーサル等1,496人、コンサート224人　　席数　－　　集客率　－　　会場　美術ロフト、市内小学校　他
開催日	令和7年6月18日（水）～22日（日）、令和8年1月28日（水）～30日（金）
チケット	公開リハーサル他　無料 コンサート　全席自由　6月22日一般1,000円　　25歳以下無料、1月30日　無料
出演者	6月：大橋春奈（ピアノ）、清水陽介（チェロ） 1月：斎藤龍（ピアノ）、長坂美玖（コントラバス）
事業内容	実力派演奏家が可児市に滞在し、小学校への出前授業、公開リハーサルやロビーコンサート、個人レッスンなど様々な企画を織り交ぜ、市民と交流を重ね、最終日に集大成となるコンサートを開催した。 【令和7年6月18日（水）～22日（日）】 6/18（水）：ロビーコンサート、公開リハーサル、ウェルカムミニコンサート 6/19（木）：今渡南小学校アウトリーチ、公開個人レッスン 6/20（金）：広見小学校アウトリーチ、公開リハーサル＆茶話会 6/21（土）：音楽ワークショップ、ロビーコンサート、レクチャー付き公開ゲネプロ 6/22（日）：事前レクチャー、アーラ未来の演奏家コンサート（美術ロフト） 【令和8年1月28日（水）～30日（金）】 1/28（水）：旭小学校アウトリーチ 1/29（木）：土田小学校、春里小学校アウトリーチ、ロビーコンサート 1/30（金）：帷子小学校アウトリーチ、アーラ未来の演奏家コンサート（姫路地区センター）
経費状況	収入　496,983円　　支出　1,136,926円　　収益率　47.9%
アンケート結果	【6月】 ・奏者の息遣いが聞こえた ・指使いまで見えた ・子供がクラシックに親しむきっかけになった ・学校訪問がきっかけでコンサートに来た」 【1月】 ・コントラバスのソロ演奏を初めて聴いたが、あんな高い音が出ると思わなかった。 ・迫力に圧倒された。心臓に響く低音が心地よかった。 ・地域（姫治）までプロの演奏を届けてくれて嬉しい。
成果	小学校の授業満足度はほぼ100%を記録。楽器に触れ、床の振動を感じる実体験を通じ「クラシックはわからない」という先入観を感動へと変えた。演奏家の息遣いを間近で体感する機会にもなりました。 1月の姫治地区センター公演も高い満足度を獲得した。来場者の85%が市内居住者で、約2割が初の来場者だった。アウトリーチが、地域密着と劇場文化への有力な入口となった。



事業名	多文化共生プロジェクト「RE：Home」
目的	可児市には外国にルーツがあり多様な文化的背景を持つ市民が人口の約9%在住しており、そのような外国籍の市民は言葉や文化の違いによる様々な課題を抱えて生活している。可児市の多文化共生の理念の柱の１つである、＂地域社会における共生”を目的として、外国籍と日本籍の市民が文化芸術を介して交流し、同質のコミュニティの中で生活をする外国籍の人が別の居場所を見つけ、互いを尊重しあうことで、豊かな人間関係づくり、地域のコミュニティ形成につながることを目的とする。
集客数	174人　　席数　180　　集客率　－　　会場　演劇ロフト
開催日時	【稽古】令和7年7月12日（土）～7月26日（土）5回 【公演】令和7年7月27日（日）10時、13時開演　2回公演 入場無料
出演者	日本、外国籍の市民24人
市民参加	市民サポーター
事業内容	前年度に作成した「Home」をまち元気EXPOに向けてリメイクし、まち元気EXPOで公演した。2公演とも満員となった。 構成・演出・振付：堀江善弘／脚本・共同演出：ニノキノコスター／出演・演出補佐：今津知也 アドバイザー：住吉エリオ洋一、山田久子、村上ヴァネッサ／リンクワーカー：菰田さよ（NPO法人可児市国際交流協会）／市民サポーター7人 協力：NPO法人可児市国際交流協会
経費状況	収入　479,098円　　支出　1,124,579円　　収益率　42.6%
アンケート結果	・外国の人が頑張って日本語を使い手紙を読んでいる姿に、私も「できないから」と避けてしまうのではなく、少しずつ異文化に触れていきたいなとおもいました。また、パパが子供に向けてレターを読む場面が印象的でした。パパの言葉がとても感動的で、家族って暖かいなぁと実感しました。涙ぐみながら読む姿に私も思わず涙がこぼれそうでした。 ・多文化の交流のため、すごく良い作品です。これからもやっていくと良いです。（男性・ブラジル/日本） ・とてもよかったです。特に色々な年齢の人が参加しているのが、よかったです。（女性・アメリカ）
成果	可児市国際交流協会と協力し、フレビアでの日本語教室でダンスワークショップをおこなった結果、外国籍市民6名（ブラジル、フィリピン、アメリカ、インドネシア国籍）が新規で出演することとなった。他に、アドバイザー紹介により、外国籍市民5名（ブラジル、フィリピン）が出演することになった。 リンクワーカーの協力により、日本語教室参加者とのつながりが強くなり、多文化共生プロジェクトに参加しやすい環境が生まれた。公演後も、外国籍市民に向けたアーラの施設見学などの連携プログラムが企画された。



事業名	森山威男ジャズナイト 2025
目的	開館以来、恒例の森山威男を中心としたトッププレイヤーによるエネルギッシュで迫力ある生演奏により、一般的なジャズファンに捉われずに幅広い観客層に対して魅力あるコンサートを行う。質の高い独自企画としてアーラのブランディングを担う事業とする。
集客数	583 人　　席数　861　　集客率　67.7%　　会場　主劇場
開催日時	令和 7 年 10 月 11 日（土）　18 時 30 分開演
チケット	全席指定　一般　5,000 円　25 歳以下　2,500 円
出演者	森山威男（ds）、川嶋哲郎（ts）、田中邦和（ts）、須川崇志（b）、魚返明未（p）
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	市内在住のドラマー・森山威男のグループを中心とした恒例のジャズコンサート。豪華ゲスト4名を迎えた質の高いプログラム、財団スタッフによる舞台・音響・照明の演出により、可児市文化創造センターでしか味わえない特別なコンサートを開催した。 【プログラム】 Pomp and Circumstance（威風堂々）／ Night & Day／You don't know what love is／Giant Steps／Softly, as in a Morning Sunrise／Greensleeves／Gratitude／Sunrise 【アンコール】 Good Bye
経費状況	収入　4,289,795 円　　支出　4,279,267 円　　収益率　100.2%
アンケート結果	・とても素晴らしい公演でした。森山さんやメンバーたちのオリジンを聞いてから、その曲を聞けるのがとても良かったです。色々考えながら聞けてなんか感動しました。 ・ジャズナイトは初めてでしたが、音楽の知識がなくてもとても楽しめました。 ・はじまる前からかっこよくてワクワクした。
成果	昨年に比べ、シンプルな編成であったが、公演の満足度については非常に高く、94%が「大変良い・良い」と回答した。7 割近くが市外からの来場者であり、初めて来場する人も 3 割を占めた。これは昨年度とほぼ同じ値であり、大物ゲストの有無に関わらず恒例となっている「森山威男ジャズナイト」として安定した高い評価を得ている結果といえる。また、今回はオペラ幕を使った演出により、開場時の観客の期待感をより一層高めることができた。音響や照明については、出演者側からも好評であったが、財団スタッフの技術力が発揮された公演となった。



事業名	ala Collection シリーズ vol.16 「ハハキのアミュレット」 可児公演
目的	アーティスト・イン・レジデンスによる作品制作を実施することで、東京一極集中の演劇創作環境に一石を投じる。「地域での制作」という特性を生かし、市民サポーターを募り、広報宣伝活動やキャスト・スタッフの日常生活のサポートなど、様々な形で作品に関わってもらう。その中で演劇を身近に感じ、一緒に創作しているという市民の実感を広げながら、より多くの市民に質の高い演劇作品を提供する。
集客数	1,158人　席数 1,626　集客率 71.2%　会場 小劇場
開催日	令和7年9月29日（月）～10月5日（日）
チケット	全席指定　一般 5,000円　25歳以下 2,500円
出演者	【作・演出】横山拓也 【出演】南果歩、福本伸一、緒方晋、橋爪未萠里、田中亨、東宮綾音、平田満
市民参加	フロントスタッフ、市民サポーター
事業内容	アーラが企画制作し、全国に発信する演劇公演alaCollectionシリーズの16作目。社会的なテーマを軽妙な会話劇に仕上げた舞台で、滞在型制作による俳優への親近感も相まって、温かい舞台は大変好評だった。 10/4は手話通訳付き公演とし、関連企画として、アフタートークを２回実施した。
経費状況	収入 19,815,613円　支出 28,366,806円　収益率 69.9%
アンケート結果	・現代的なテーマをとてもさわやかに演じられたと思います。りんちゃんの妊娠、解決の仕方、私たちシニアにはびっくり。でも大人たちの冷静な受けとめ方。とても良かったです。俳優さんたちの演技どの方もすばらしい。南果歩さん、テレビでお見かけしたことはありますが、はじめて目の前でお目にかかれてよかった。 ・今日はすばらしかった。いつまでも心に残りそう。
成果	全国的にも珍しい取り組みであるアーティスト・イン・レジデンス形式で実施しているが、今回は出演者の都合により、前半の２週間を東京での稽古期間、後半の２週間および本番を含めた約１か月間を可児市での滞在制作とする構成となった。可児滞在中には、サポーターによるカレービュッフェでのおもてなしや、アーラでの記者発表をはじめとした、市民との交流を深める企画を実施することができ、滞在型制作ならではの地域連携の成果を生み出した。また集客面においては、書き下ろし作品を上演したことで、南果歩、平田満といった知名度の高い俳優の起用が実現した。その結果、キャスティング効果もあって、当初の想定を上回る来場者数を達成できた。さらに作品内容においても、「後継者問題」という社会的テーマを軸に据えた物語が観客の共感を呼び、公演全体の満足度向上につながった。



事業名	ala Collection シリーズ vol.16 「ハハキのアミュレット」 東京公演
目的	当財団がプロデュースする演劇作品を可児公演だけでなく東京公演および全国公演を視野に入れ、可児市から全国に発信する質の高い作品を目指すと共に、東京公演において演劇界から高い評価を得ることで、市民の演劇に対する理解を得ることを目的に発信し、シティプロモーションに貢献する。
集客数	1,190 人　　席数　1,190　　集客率　100.0%　　会場　吉祥寺シアター
開催日	令和 7 年 10 月 9 日（木）～ 10 月 15 日（水）【８公演】
チケット	全席指定　一般　5,000 円　　25 歳以下　2,500 円
出演者	【作・演出】横山拓也 【出演】南果歩、福本伸一、緒方晋、橋爪未萠里、田中亨、東宮綾音、平田満
事業内容	アーラが企画制作し全国の発信する演劇プロジェクトの東京公演として、可児市で制作した「ハハキのアミュレット」を東京で公演し、首都圏に発信した。 東京公演は可児市のシティプロモーションと位置づけており、終演後に可児の花であるバラをお客様に一輪ずつプレゼントすることで、可児市および当シリーズのブランディング効果を高める効果を図った。 10/12 は手話通訳付き公演とし、関連企画として、アフタートークを２回実施した。
経費状況	収入　5,212,474 円　　支出　11,418,849 円　　収益率　45.6%
アンケート結果	・ユーモアがあり、ストーリー展開が早く、楽しかった。力のある俳優さんの舞台はいいなと思った。人物全てが丁寧に描かれていた！！来年からも毎年来たい。
成果	本公演においては、横山拓也の既存ファン層を効果的に取り込んだことにより、発売開始から数日で販売予定数の約8割に達するなど、極めて高い初動集客を記録した。この状況を踏まえ、追加公演を実施し、最終的に全8ステージがほぼ完売となる成果を上げた。また、演出家および出演者をゲストに迎えたアフタートークを2回実施し、滞在型制作のプロセスや魅力を来場者に直接伝える機会を創出した。これにより、本シリーズの特性に対する理解促進と認知向上につながり、ブランド価値の向上に寄与したと考えられる。さらに、演劇ジャーナリストや専門記者などの業界関係者が多数来場し、その一部からSNS等において高い評価が発信された。これらの外部評価の拡散により、本シリーズの認知拡大およびブランドイメージの向上に一定の効果があったといえる。

事業名	ala　Collection シリーズ　vol.16 「ハハキのアミュレット」 地方公演
目的	当財団がプロデュースする演劇作品を可児公演だけでなく東京公演および全国公演を視野に入れ、可児市から全国に発信する質の高い作品を目指す。また、全国の公共ホールと連携を組み、地域に合わせたワークショップやアウトリーチ事業を実施することで、各地域の芸術文化の活性化に寄与するものとする。各主催者からは公演費として収益を上げる。
集客数	1,620 人　　席数　2,835　　集客率　57.1%　　会場　下記参照
開催日	令和 7 年 10 月 18 日（土）～ 11 月 8 日（土）【6 公演】
チケット	ひたちなか公演　4,500 円、栃木公演　4,000 円、はつかいち公演　4,000 円、 日田公演　　円、丸亀公演 3,500 円、知立公演 4,500 円
出演者	【作・演出】横山拓也 【出演】南果歩、福本伸一、緒方晋、橋爪未萠里、田中亨、東宮綾音、平田満
事業内容	アーラが企画制作し、全国に発信する演劇プロジェクトのツアー公演。可児市で制作した作品を全国に発信し、可児市とアーラのブランド力を高めた。 【ひたちなか公演】　令和 7 年 10 月 18 日（土）13 時開演　ひたちなか市文化会館 【栃木公演】　令和 7 年 10 月 25 日（土）14 時開演　栃木県総合文化センター 【はつかいち公演】　令和 7 年 10 月 31 日（金）18 時 30 分開演　はつかいち文化ホール 【日田公演】　令和 7 年 11 月 3 日（月・祝）14 時開演　日田市民文化会館 【丸亀公演】　令和 7 年 11 月 5 日（水）　18 時 30 分開演　丸亀市綾歌総合文化会館 【知立公演】　令和 7 年 11 月 5 日（水）　13 時開演　知立市文化会館　手話通訳付き
経費状況	収入　22,974,455 円　　支出　14,482,495 円　　収益率　158.6%
成果	知名度の高い俳優の起用および演劇界で注目を集める劇作家による新作上演という企画力を背景に、全国6か所での公演実施を実現した。また、地域創造の連携プログラムに採択されたことにより、各主催者の経済的負担の軽減にも寄与できた。さらに、毎月の定期ミーティングを通じて制作ノウハウの共有を図ることで、連携館相互の関係性が強化され、継続的な協働体制の基盤構築につながった。加えて、6館連携による広域的な展開により、本シリーズの認知度向上およびブランド価値の強化においても一定の成果を上げた。

事業名	シリーズ恋文　vol.15
目的	恋人、夫、妻、母親などにむけて“普通の人々”が綴った心打つ手紙の朗読を通じて、人間同士の「絆」を多くの方に再認識して頂くことを目的とする。恋文という身近な題材を用い、また地元音楽家出演により演劇公演に馴染みのない方でも　共感しながら鑑賞できる内容とし、地域における演劇鑑賞者の基盤づくりに寄与するものとする。
集客数	481 人　　席数　482　　集客率　99.8%　　会場　小劇場
開催日時	令和 7 年 11 月 29 日（土）、30 日（日）共に 14 時開演
チケット	全席指定　一般　4,000 円　　25 歳以下　2,000 円
出演者	中村雅俊、真野響子、黒木由香（ピアノ）
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	実力、知名度共に備えた俳優および演出家を招き、5 日間の滞在期間に可児市で作品をつくりあげる、アーラオリジナルの朗読公演を行った。「日本一心のこもった恋文」1 ～ 10 の中から 19 編を朗読した。音楽は地元の音楽家である黒木由香によるピアノの生演奏で実施した。各日終演後にアフタートークを実施した。 構成・演出：ラサール石井 協力：秋田県能代市（二ツ井町） 出典：「日本一心のこもった恋文」シリーズ
経費状況	収入　3,460,607 円　　支出　2,976,882 円　　収益率　116.2%
アンケート結果	・初めての朗読劇でピアノ演奏も素敵で、映像と想像の世界に酔いしれておりました。次回も是非訪れたいと思います。 ・トークが面白くて恋文も泣けました。また再演してください。 ・恋文シリーズは、アーラの小ホールにぴったりです。朗読する役者さんの表情が手に取るように判り、そして声の響きも大変良いです。
成果	完売となった令和5年度の「vol.13」の再演だったが、朗読内容は全19通中5通を変更した。また、初演からのリピーターが大変多いことが、アンケートやトーク中の会場への質問で判明したので、短いスパンでの再演だったが、観客への満足度は高かった。また、陶芸に造詣が深く、特に荒川豊蔵に心酔している真野響子氏に、資料館などの市内陶芸関係施設を案内し、今後のPRに繋げていく道筋も見出すことができた。



事業名	シリーズ恋文　vol.15 地方公演

目的	アーラオリジナルコンテンツである「シリーズ恋文」を市外で公演することにより、朗読を通じて「絆」の大切さを再認識して頂く機会を生み出すとともに、アーラの全国にむけてのブランディングを目指す。

集客数	725人	席数　848	集客率　85.5%	会場　下記参照
開催日	令和7年12月4日（木）、12月6日（土）			
チケット	全席指定　【長岡公演】一般　3,000円　　25歳以下　1,000円 【山形公演】6,500円（前売り6,000円）			
出演者	中村雅俊、真野響子、黒木由香（ピアノ）			

事業内容	可児市で作品をつくりあげた、アーラオリジナルの朗読公演を他館で開催した。 構成・演出：ラサール石井 12月4日（木）14時開演　長岡リリックホール（長岡公演） アフタートーク進行：ラサール石井 12月6日（土）14時開演　東ソーアリーナ（山形公演）

経費状況	収入　4,238,070円	支出　2,748,296円	収益率　154.2%

成果	公演内容においては、朗読に加えて各会場でアフタートークを実施し、長岡・山形それぞれの地域性に即した内容としたことで、観客にとってその土地でしか体験できない特別性を創出することができた。

事業名	市毛良枝の音楽と語りのひととき 「母へのまなざし」
目的	朗読をライフワークにしながら、抜群の知名度とアーラのミッションに深い関心と賛同を寄せる市毛良枝による「音楽と語りのひととき」とした朗読企画の第二弾。母への思いを綴った手紙などを音楽を交えて届けることで、様々な親子関係の心情に触れていく。

集客数	141人	席数 259	集客率 54.4%	会場 小劇場
開催日時	令和8年1月31日（土）14時開演			
チケット	全席指定　一般　2,500円　　25歳以下　1,250円			
出演者	市毛良枝（朗読）、望月雄史（ギター）			
市民参加	フロントスタッフ			

事業内容	演奏家と共に市毛良枝の音楽、トーク、朗読を散りばめたおしゃべり朗読ライブ。平成30年「シリーズ恋文」公演でアーラでの初出演後、５回目の出演となる。谷川俊太郎、茨木のり子らの作品を取り上げた。アーラで継続的に公演活動をしている、その経緯を市民に知っていただき、敷居が高いと思われがちな劇場や著名な俳優との垣根を低くくしていくため、ミュージシャンと共に音楽と朗読とフリートークで綴るカジュアルな雰囲気の公演を実施した。

経費状況	収入　515,336円	支出　720,572円	収益率　71.5%

アンケート結果	・とっても母への思いが素敵でした。母を大切に生きたいなーってとっても思いました。生きているうち母と楽しいたくさんの思い出を残したいです。ありがとうございます。 ・去年は所用で来られず、2年ぶりの市毛さんでした。朗読からのギター演奏を聴いてとてもよかったです。母を思う子ども達の詩は身につまされるような感じもしました。また可児に帰って来て下さい。

成果	公演内容に対する来場者満足度は94％と、設定した目標値80％を大きく上回る結果となった。これは､市毛良枝と演奏者･望月雄史による掛け合いの深化や、朗読と音楽のバランスがより洗練されたことによるものと考えられる。前年度と同じコンビで実施したことで、両者の信頼関係が強まり、より一体感のある質の高いコラボレーションを提示することができた。



事業名	市民ミュージカル『君といた夏』
目的	約100人の市民の参加を目標にし、半年かけて制作する。可児を題材にしたミュージカルを、大人から子どもまで一緒に創り上げることで地域の繋がりを強め、郷土愛を育むことを図る。参加者のみならず観客を含めて地域全体に「わたしたちのミュージカル」としての「君といた夏」を浸透させ、可児市を代表する作品となることを目標にする。
集客数	1,367人　　席数　1,598　　集客率　85.5%　　会場　主劇場
開催日時	令和8年2月28日（土）18時30分開演 3月　1日（日）14時開演
チケット	全席指定　2,000円
出演者	公募による市民参加者101人
市民参加	キャスト、サポーター、フロントスタッフ
事業内容	昭和49年の可児を題材に、その当時の子ども達が繰り広げる夢ある冒険を、ミュージカルに仕立てたオリジナル作品。2011年度、2014年度、2017年度、2022年度 に続き5度目の上演。 夏頃から出演者募集の後、9月にオーディション（配役決定）を実施。 毎週末の土日を基本に稽古を行った。 また、市民サポーターも募集し、関連企画の実施や広報宣伝活動に協力いただく。 出演者としてだけではなく、サポーターというかたちでも作品制作に関われる機会を設けることで、より多くの市民が参加できるような事業であることを目指した。
経費状況	収入　9,269,057円　　支出　16,690,720円　　収益率　55.5%
アンケート結果	【出演者（保護者）】 ・自分とは違う年代や性別、職業の方々とふれ合い切磋琢磨、ひとつのものに向かっていく体験に感謝。 ・学校で辛い事があってもアーラに行けば皆に会えると毎週土日が楽しみでした。すごく幸せな時間。 【鑑賞者】 ・舞台から客席に届いたキラキラのパワー。プロの演劇にはないドキドキがたまらなく嬉しい。 ・市民ミュージカルとは思えないクオリティの高さで感動した。全員が全身で表現していて素晴しかった。
成果	講師・スタッフ陣の尽力のもと、参加者そしてお客様の満足度も概ね高く、地域からの愛着ある作品として幕を降ろすことができた。毎週の稽古を通じ、子ども達にとってもアーラが居場所として認知度が上がった。



事業名	歌舞伎とおしゃべりの会

目的	難解だと感じられがちな歌舞伎などの古典芸能を気軽に学べる講座を開催。また、地元の地歌舞伎保存会である可児歌舞伎と協力のもと、一部講座においてはコミュニケーションを重視した企画とし、古典芸能や地域文化を通して市民の交流の場をつくる。

集客数	317人	席数 386	集客率 82.1%	会場 映像シアター
開催日	令和7年8月9日（土）、9月14日（日）、12月13日（土）、令和8年2月21日（土）			
チケット	講座：1,000円／回			
講師	下記事業内容参照			
市民参加	受付、運営補助（可児歌舞伎）			

事業内容

多彩な講師、ゲストを迎え、伝統文化である歌舞伎をきっかけに芸能の魅力を色々な角度から学ぶ。座学だけでなく、参加型の内容や実演等も入れ、楽しみながら深く学べる講座を開催した。

8月 9日（土） 13時30分開演「芝居のアクセント～歌舞伎「ツケ打ち」の巨匠が登場」
講師：葛西聖司、ゲスト：柴田正利（ツケ打ち）
9月14日（日） 13時30分開演 「悩める古典 vol.1」 講師：木ノ下裕一
12月13日（土） 13時30分開演 「悩める古典 vol.2」 講師：木ノ下裕一
2月21日（土） 13時30分開演 「～歌舞伎を聴く～常磐津の魅力」
講師：葛西聖司 、ゲスト：常磐津巴瑠幸太夫、岸澤式松

経費状況	収入 708,637円	支出 815,218円	収益率 86.9%

アンケート結果

・永年、歌舞伎座で拝見していた芝田さん（附け打ち）の「生」のいろいろなお話をきけて大変有意義でした。よもやま話は他では伺えない素晴らしいお話でした。
・「悩める古典」というタイトルでどんな講座になるのか楽しみにしていましたが、予想をはるかに上回る興味深いお話でした。木ノ下先生の頭にある引き出しの多さにもっともっとお話を聞きたくなりました。

成果

一年を通じて受講者が古典芸能を楽しみながら様々な角度から学べる講座が開催できた。木ノ下氏の講座では「悩み」という古典芸能講座としてはユニークなテーマを設定して一方的ではなく、参加者と一緒に考えて学ぶ内容を展開。身近に古典を感じて楽しんでいただくことができた。葛西氏の講座は2回とも実演を入れて実際の芸能の魅力に触れられる講座とした点が好評であった。浄瑠璃など、一般的に馴染みがあるとは言えないジャンルでも、丁寧に解説を入れて伝えることで、その魅力をしっかりと参加者に伝えることができた。また、今年度は参加者数が去年に比べて全体で20%近く増加した。



事業名	森山威男ドラム道場
目的	日本を代表するジャズドラマー・森山威男によるドラム講座を開講することにより、初心者からプロを目指す方まで、ドラムという楽器だけでなく音楽に対する視野を広げる。地域に住むアーティストとの連携による独自の事業を展開することにより、当センターのブランディングに資する。
集客数	道場生 延べ111人、 公開セッション 96人　　席数　公開セッション 100人　　集客率　－　　会場　音楽練習室他
開催日時	ドラム道場　　毎週月曜計45回 公開セッション　　令和8年3月13日（金）18時30分開演
受講料	受講料　1回　3,000円／18才以下1,500円
講師	森山威男
事業内容	市内在住のジャズドラマー・森山威男氏を講師に迎え、その高度な演奏技術を学べる機会を提供するもの。レッスン中はもちろん、レッスン後に参加者同士の情報交換を行ったり、復習して課題に向かうひとときもある。またプロの演奏者と道場生による公開セッションを演劇ロフトにて実施。公開セッションでは、森山威男氏の他にゲスト2名を招いた。道場生がプロとセッションする場を作ることで、実践の場として技術の向上を目指した。 【公開セッション】 ［ゲスト］守谷美由貴（サックス）、石井ひなた（ピアノ）　会場：演劇ロフト
経費状況	収入　1,285,342円　　支出　2,071,516円　　収益率　62.0%
アンケート結果	・受講生：森山さんの演奏だけでなく、お話からも学ぶ貴重な時間。ほんとうに贅沢な時間です。 ・公開セッションは、満足のいく演奏ができて嬉しかった。 ・セッション来場者：ドラム道場の色々なセッションが聞けて面白かった。スリリングだった。 ・ジャズにあまり興味はないのですが、とても楽しい時間でした。音楽はいいなと思いました。
成果	世界的に活躍する可児市在住のジャズドラマーから直接ドラム指導が受けられる貴重な機会として、学生・一般、セミプロ・アマチュア、様々なレベルの生徒がいるが、今年度もそれぞれのペースで技術や演奏哲学を学べる場となった。生徒がプロやセミプロとして活躍するケースも出てきており、東京や名古屋の講師のライブへ生徒がゲスト出演するなど活躍も目立っている。その活躍は、本事業や会館の認知度向上にも寄与するものである。 今年度の特別企画は、講師が出演した海外公演のスケジュールなどを考慮し、アーラでのセッションは1回のみの実施となったが、久しぶりのロフトでのライブだったこともあり、想定していた客席数80席が早々に完売し、追加席を販売した。地元のアーティストの演奏を身近に楽しめる点からも来場者にも喜んでいただける企画であった。 

事業名	おでかけ落語会
目的	プロの落語家が市内の学校に出向いて落語会を実施。落語を生徒に聞いてもらうだけでなく、扇子を使った表現などを実演しながら解説するなど、日本が誇るべき伝統話芸の魅力や表現の奥深さを伝える。
集客数	912人　　席数　－　　集客率　－　　会場　市内中学校
開催日	令和7年4月21日（月）～4月25日（金）
参加料	無料
出演者	桂やまと（落語家）
事業内容	落語家・桂やまとが市内の中学校に出向いて落語のワークショップをおこなった。落語を聞くだけでなく、扇子を使った表現などを実際に体験する機会を設けた。 4月21日（月）　広陵中学校　3年生3クラス 22日（火）　中部中学校　2年生7クラス 23日（水）　東可児中学校　2年生3クラス 24日（木）　蘇南中学校　2年生10クラス 25日（金）　西可児中学校　1年生3クラス 【ネタ】子ほめ
経費状況	収入　157,725円　　支出　363,029円　　収益率　43.4%
アンケート結果	【先生】 ・落語を通して“生き方”を学ばせていただきました。“想像力”を柱として自分を愛すること、他者を愛すること。私は一番最後の言葉が心に残りました。 【生徒】 ・今回の落語で、自分は落語の楽しさだったり、落語の楽しみ方を学べたのでとても良かったです。また最後の方の、話についてもとてもためになったので、とても良かったです。 ・会は、とてもおもしろくて、師匠さんのユーモアがめちゃめちゃいいと思いました！！会の最後に言ってくれた、人生のことに対して、とても心に残りました！
成果	今年で通算4回目となる。単に落語を聴かせるだけでなく、「落語」という芸への触れ方を丁寧に導き、広く人生の学び、気づきを促す語り掛けで締める内容は、安定して好評を得ている。各回最初の挨拶時に担当職員が聞いてみたところ、人気少年誌連載中の『あかね噺』よりも、『笑点』の方が圧倒的な認知率だった（ほぼみんな知っている）のは、意外だった。



事業名	**演劇ワークショップリーダー養成講座、学校ワークショップ**
目的	文学座より講師を招き、演劇的手法を用いて様々な人々の居場所を創出していくワークショップリーダーを養成する。また、地域で活動をするアーティストを育成することで、教育や福祉など様々な現場で活躍していくコミュニティ・プログラムの拡充を目指す。昨年度から継続実施することで、新規人材の発掘と現場即戦力の育成強化を図る。
参加者数	370人　　席数　－　　集客率　－　　会場　演劇ロフト他
開催日時	【養成講座】令和7年5月17日（土）14時～18時、18日（日）10時～17時 【実践プログラム】令和7年5月15日（木）、16日（金）、19日（月）、20日（火）28日（水）、29日（木）
参加料	養成講座受講料　3,000円　　学校ワークショップ：無料
講師	【講師】植田真介（文学座）　アシスタント：日景温子、髙柳絢子、石森咲妃、大羽千春、山口文香、渡邉美奈、林優花、三宅恵理
事業内容	一般に開かれた「演劇ワークショップリーダー養成講座」と、前年度の講座生の中からリーダーとしての資質あるメンバーを選抜し、実際に学校でのWSを展開する「実践プログラム」に分かれて実施した。 【演劇ワークショップリーダー養成講座】 令和7年5月17日（土）14:00～18:00、18日（日）10:00～17:00　演劇ロフト 【実践プログラム】（学校ワークショップ） 5月15日（木）・16日（金）　蘇南中学校　計3コマ 5月19日（月）・20日（火）　広見小学校　計4コマ 5月28日（水）・29日（木）　広陵中学校　計4コマ
経費状況	収入　544,201円　　支出　1,098,762円　　収益率　49.5%
アンケート結果	【講座参加者】 ・ファシリテーターの心構えと技術を知ることができた。自分の傾向が分かり、改善のヒントをもらえた。普段会わないような色々な人と知り合うことができた。 ・ぼんやりしたものだったWSというものを具体的に言語化して下さり、それをテキストにしてまとめて下さっているのがとてもすばらしくて大変勉強になりました！！ ・今回初めてアーラに来ました。来るまで可児に大きな劇場があることも芸術に力を注いでいることも全く知りませんでした。またアーラに来たくなりました。
成果	【養成講座】 昨年に続き2回目の実施で、期間を大幅に圧縮したため、テキストも大きな改訂が施され、充実した内容となった。駆け足で模擬実践までやる形になったが、社会人には参加しやすい2日間のみの開催日程となり、新規参加者が大半を占めた。 【実践プログラム】 植田氏が中心となり、アーラとしても初めて、中学校向けプログラムとして演劇ワークショップを行った。ワークショップ自体の評価は非常に高く、特に支援学級での実施となった蘇南中では担任・校長も目を見張るほどの成果を得た。また、講座修了者もアシスタントとしてプログラムの一部を担い、貴重な実践経験を積むことができた。 

事業名	劇場フロントスタッフ養成講座
目的	劇場フロントスタッフ活動を希望する市民を募集・登録し、アーラの自主・共催公演を市民による温かいおもてなしで鑑賞体験をサポートし、市民サービスの向上を図る。また、劇場フロントスタッフの活動に興味のある方を対象に、基礎知識と技術を学ぶ機会を提供し、市民活動の活性化を図る。
集客数	受講者数 47人　　席数　－　　集客率　－　　会場　音楽ロフト　他
開催日	令和7年7月21日（月・祝）、8月31日（日）
参加料	無料
市民参加	劇場フロントスタッフ
事業内容	劇場フロントスタッフ活動を希望する市民を募集・登録し、活動のコーディネートを行った。 既存メンバー33名　新規メンバー6名　計39名登録 令和7年度の公演数は31公演で、交流会も含めた説明会を4/26（土）、8/31（日）、10/18（土）、3/21（土）の計4回実施した。 さらに、レクチャー会：9/20（土）、9/21（日）に実施した。 【養成講座】 ・劇場フロントスタッフ養成講座を実施し、フロント活動を希望する市民への研修を行った。 講師：星乃もと子（有限会社シアターマネジメントプラン代表） 7月21日（土）10:00～16:30／座学編 8月31日（日）10:00～16:30／実技編 12月20日（土）　公演『クリスマス・キャロル』にてOJTを実施した。
経費状況	収入　272,820円　　支出　1,091,625円　　収益率　25.0%
アンケート結果	・フロントスタッフの言動には全て理由と根拠があり、全てがお客様の為の言動である事を学んだ。「リスク回避と無駄を省く」という意識は仕事にも通ずるものがあると思いました。研修の内容にも2週間という短い期間の中に濃縮されていると感じました。 ・フロントスタッフの仕事を知ることができることと、新しい経験や人との出会いを楽しみにしています。
成果	既存メンバー33名に加えて、新規加入メンバーが6名おり総勢39名の団体となった。 活動公演回数は31回で、のべ参加人数は300名。 公演アンケートのうち『スタッフの対応はいかがでしたか』という設問では97％の方が「大変良い・良い」と回答。質・量ともに充分な活動を行ってもらえた。



事業名	平田オリザの「対話を考える」モデル授業

目的	平田オリザによる演劇的な教育手法を学校という教育現場に用いることにより、子ども達のコミュニケーション能力の向上を図ることを目的とする。

集客数	25人	席数	－	集客率	－	会場	レセプションホール
開催日時	令和7年7月25日（金） 10:00～16:00						
参加料	無料						
参加者	市内小中学校の３、４年目の教職員						
講師	平田オリザ（劇作家・演出家）						

事業内容

平田オリザ氏を講師に迎え、お互いの価値観を理解するために重要になってくる「対話」についてのワークショップを開催した。

【講座内容】
午前：講師紹介・仲間集めゲーム・相手を感じる活動・イメージを共有する活動
午後：他者を演じる活動・演劇を教育に組み込み必要性の解説

経費状況	収入 69,075円	支出 159,000円	収益率 43.4%

アンケート結果

・指導の仕方や教材研究などについて学ぶ機会はあるが、校内だけの学びでは閉鎖的であるため、大学入試情報のような一般の情報、情勢を聞けて自分の考えや学ぶことに活かしたいです。
・普段受けられないような講座で、何もかもが新鮮でした。ありがとうございました。
・教育に劇を活用する良さを実感することができた。劇の中なら、自分のダメだと思っていたところが役にすることで、良さと捉えることができる。素敵だと感じた。また、それを活かすも殺すも、周りであることもわかった。そういう集団をつくっていきたい。

成果

可児市小中学校14施設から25名の市職員が参加。
アンケート集計結果から「今後の学級経営に生かしたいことがあった」との回答は90％以上となり、普段の学級経営では学べない非認知スキルの向上ために出来る具体的なワークショップが学びとして提供できた。



事業名	ala 国際演劇サマースクール
目的	劇場提携を結ぶ英国リーズプレイハウスから講師を招いて青少年を対象に短期間で小品を創作することで、次世代の表現者の育成に寄与すると共に、将来に向けたユースシアターの立ち上げの土台とする。また、アシスタントに日本人演出家を付けることで、英国演劇の創作ノウハウを習得させ、日本演劇界の底上げに寄与する。
集客数	5人　　席数　－　　集客率　－　　会場　演劇ロフト
開催日	令和7年7月23日（水）～27日（日）
参加料	3,000円
参加者	15～23歳の青少年
講師	講師：エイミー・リーチ（リーズ・プレイハウス所属） アシスタント：坂元奈未（長久手文化の家）
事業内容	（まち元気EXPO内で実施した） リーズ・プレイハウス（イギリス）から、副芸術監督のエイミー・リーチ氏を迎えて、15～23歳の青少年を対象にした5日間の連続ワークショップを開催。最終日には作品発表も行った。また、アシスタントとして坂元奈未氏（長久手文化の家）にも加わってもらった。 ＜日程＞ 7/23（水）～27（日）　11:00～17:00 27日（日）14:30より作品発表＆トーク
経費状況	収入　557,329円　　支出　1,359,475円　　収益率　41.0%
アンケート結果	・私は全く英語が話せないし理解もできないため、言語の壁に不安を感じていました。しかし、知ってる限りの単語を繋げたり、ジェスチャーなどを使ったりして、相手にわかって貰えたことがすごく嬉しかったです。 ・今回演劇のみならず人との関わり方、人生において大切なことを学ばせて頂きました。 ・日本でなかなか受けられないようなワークショップでした。どのエクササイズも学びでとても楽しかったです。そして作るだけでなく誰かに見て貰えるということでもとても素敵で貴重な体験だったと思います。また違う文化、違う国籍の方と交流できる機会はなかなかないためとても素敵な取り組みだと感じました。
成果	リーチ氏の指導手腕は素晴らしく、ややのんびりした滑り出しに感じたが、途中無理をすることもなく、最終的にはしっかりと作品を仕上げた。参加人数が少なくなったことで、各人へのケアは手厚くなったが、同時に個々のワークの量も増えたので、若干疲れが見える参加者もいた。ただ、最終的な満足度は高く、充実した時間を過ごせたようであった。リーチ氏からはワークショップの時間外に、打合せを含めてアシスタントおよび担当者は、「デバイジング」の手法についてのアドバイスや資料提供も受ける事が出来た。関係者全員が、たくさんの成果を得る事が出来た5日間であった。



事業名	みんなのディスコ 2025
目的	障がいのある方は、コロナ禍の影響から施設や自宅などに引きこもりがちな生活環境にあり、公の場所で音楽や演劇、映画、ダンスなど芸術を楽しむ機会が少ないのが現状である。障がい、国籍、年齢、性別、全ての垣根を越えて、音楽で繋がる場所を提供することで、社会的な自立と生きがいを創出し、また、障がいのある方と健常者の相互理解と交流を育むことで、偏見や差別のない街づくりに寄与する。
集客数	302 人　　席数　－　　集客率　－　　会場　小劇場
開催日時	令和 7 年 7 月 27 日（日） 15 時開始
参加料	入場無料
出演者	みんなのディスコ DJ's、うたのギリギリおにいさん（川名洋行）、金井ケイスケ（サーカスアーティスト）、川崎昭仁（ギタリスト）、岐阜医療科学大学ダンス部、JOY ☆ UP、劇団ドキドキわくわく、ごちゃまぜバンド with RYU
市民参加	市民ボランティアサポーター
事業内容	（まち元気 EXPO 内で実施した） 音楽とダンスを通じて、障がい、国籍、性別、世代などあらゆる垣根を越えて人々が気軽に交流できる場を設けた。今年度は小劇場で客席内を撤去・仮設するなどして実施した。 【関連企画】 ごちゃまぜアートの会＆更生保護女性の会による美術工作ワークショップ 7/21（月・祝）10：00 － 12：00 @ギャラリー　会場装飾美術作成（黒画用紙、蛍光絵具、クレヨンで人型の模様作成） 7/27（日）13：00 － 15：00 @音楽ロフト　仮装グッズ等作成（ノリノリフィギュア）
経費状況	収入　371,023 円　　支出　850,550 円　　収益率　43.6%
アンケート結果	・老若男女、障害の有無を問わず交流できる場があるのは時代に沿っていてとても良いなと思いました。 ・一市民としてアーラは生きる希望の場所。私にできること、積極的にこれからも行いたいです。 ・泣けました。 ・I had a teary eyes for i witnessed how happy they were and they had their best time!（彼らがどれほど幸せで、最高の時間を過ごしているかを目の当たりにして、私も涙ぐんでしまいました。）
成果	初めての小劇場開催で、心配なところがあったが、参加者ふくめケガ無く無事開催できたことが良かった。 アンケート結果の「障がいのある方への理解が深まった」と感じた人が 96％と高く、事業の目的である共生社会の実現に寄与できた。



事業名	まち元気 EXPO
目的	文化芸術の力を社会に活かし、人々の「生きる活力」と「コミュニティの創出」を目指して取り組んできた「アーラまち元気プロジェクト」の活動を、広く発信・共有するための“ワークショップ見本市（つながりの祭典）”を行う。「孤立」や「生きづらさ」に対し、公共劇場が文化芸術を通してどのように多世代・多様なつながりを作っているのか、具体的なアプローチや成果を多くの市民や関係者に広く認知してもらうことを目的とする。
集客数	2,031 人　　席数　－　　集客率　－　　会場　全館
開催日	令和 7 年 7 月 26 日（土）、27 日（日）
参加料	入場無料　※一部有料
市民参加	まち元気リンクワーカー
事業内容	【プログラム】 アフタフ・バーバン「忍者ワークショップ」／座談会「まちが元気になる処方箋」／「みんなのディスコ」／「オープンアトリエ」／ごちゃまぜアート「もう一人の自分に大変身！」／多文化共生「RE:HOME」／ala国際演劇サマースクール「MY Light」／映画「夢見る校長先生」／「あかちゃん親子のアーラで遊ぼう」／「ココロとカラダの健康ひろば」／いろんなみんなのアート展／朝のリズムアップ！みんなでハッピー体操／市民パフォーマンス「渋さ市民音楽組」「アーラ紙芝居一座」／チョキチョキアート／朝市と朝カフェ／ポスター展／まち元気コンシェルジュ・写真展「わたしの一枚」、他
経費状況	収入　526,139 円　　支出　1,618,353 円　　収益率　32.5%
アンケート結果	・親子共に楽しめてよかった（赤ちゃんおやこアーラで遊ぼう） ・見学だけのつもりが参加することができて、楽しく運動できて良かったです（ココロとカラダワークショップ） ・大きな紙に好きなように絵の具で絵を描けて楽しかったようです。（オープンアトリエ） ・健常者の方も障がい者の方も一つになり盛り上がって良かったです。（みんなのディスコ） ・サマースクールは短期間でこのような作品が作れるのかと驚いた。（ala国際演劇サマースクール） ・違う国、違う言語、違う文化の方たちと繋がれてとても刺激を受けた。（多文化共生）
成果	通常は対象が限られるワークショップ系事業だが、今回は「まち元気EXPO」としてオープンに実施し、想定を超える2,000人以上が来場した。この成功を支えた市民サポーターの活躍や、異なる事業間の交流は多様な相乗効果を生み出した。また、多くの業界関係者の視察により当センターのブランディングが強化され、現場体験を通して言葉では伝えにくい「社会包摂型劇場経営」の理念や、地域に必要とされる新たな劇場像を体感的に示す大きな成果を得た。 

事業名	**ココロとカラダワークショップ （あかちゃん親子のアーラであそぼ♪・ココロとカラダの健康ひろば）**
目的	乳幼児とその親、高齢者が孤立してしまうことを防ぐために、それぞれの仲間の輪を広げることを目的にコミュニケーションワークショップを継続的に実施する。
集客数	①あかちゃん親子のアーラであそぼ♪　延べ 216 人 ②ココロとカラダの健康ひろば　延べ 212 人　　会場　レセプションホール
開催日	あかちゃん親子のアーラであそぼ♪：令和 7 年 5 月 14 日（水）～ 12 月 3 日（水）の指定水曜日　全 10 回 ココロとカラダの健康広場：令和 7 年 4 月 23 日（水）～ 12 月 3 日（水）の指定水曜日　全 12 回
参加料	参加料　1 回 300 円
講師	Ten seeds（劇･あそび･表現活動）、川原美奈子（劇団うりんこ）、長与江里奈（ダンサー）
事業内容	コミュニケーションゲームやダンス、演劇表現の要素を取り入れながら、参加者同士の交流を深め、健康づくりそして仲間づくりを促進する空間づくりをした。 【あかちゃん親子のアーラであそぼ♪】市内在住の 0 ～ 1 才 6 カ月児とその保護者対象ワークショップ （前期）　5 月～　7 月の水曜日　10:45 ～ 11:45 ＜全 5 回＞ （後期）10 月～ 12 月の水曜日　10:45 ～ 11:45 ＜全 5 回＞ ［定員］15 組　［参加人数］延べ 216 人 【ココロとカラダの健康ひろば】60 代以上対象ワークショップ （前期）　4 月～　7 月の水曜日　14:00 ～ 15:15 ＜全 6 回＞ （後期）10 月～ 12 月の水曜日　14:00 ～ 15:15 ＜全 6 回＞　全 12 回 ［定員］20 人　［参加人数］延べ 212 人
経費状況	収入　598,010 円　　支出　1,207,237 円　　収益率　49.5%
アンケート結果	［あかちゃん親子のアーラであそぼ♪］ ・0才児で参加できるものが少ないので、ありがたかったです。 ・いつもは傍にいないと泣いてしまうけどワーク中はふと親元を離れて楽しむ姿が新鮮でした。 ［ココロとカラダの健康ひろば］ ・いろいろな先生に出会い新しい事を体験させていただき、とても嬉しいです。
成果	親子WS･60代以上WS、共に、通年の実施回数を減らし対象月齢を制限したことに、継続参加者や過去に参加したことがある方からは残念な声があがっていたが、活動自体は講師陣の安定した技量により毎回参加者が充分に楽しめる内容となり満足度も高いままに保つことができた。 実施回数減により、特に高齢の方のココロの健康を気遣い、地元アシスタントの松岡さん（ぽんさん）山田さん（ぴざさん）が自発的に「お茶会」を企画そして開催くださり、WSのない時期も独自企画で参加者のつながりを維持してくださったことは、とても有難く、また地元の人材の育成という意味においても心強いものが生まれた。 

事業名	**児童・生徒のためのココロとカラダワークショップ スマイリングワークショップ　教員向けワークショップ**
目的	不登校児童・生徒が自己肯定感を育めるように、また市内小学校へ通う子どもたちが、相手に自分の思いや考えを表現し、そして相手を受け入れることができるコミュニケーション能力を育むため、継続的に実施する。また夏休みに教職員対象ワークショップを行うことで教職員が現場で活用できる活動事例を伝える。
集客数	児童生徒 1,660人 (スマイリング含む) 教員向け25人　　席数　－　　集客率　－　　会場　市内小学校、スマイリングルーム、レセプションホール
開催日	児童生徒：令和7年4月16日（水）～12月12日（金）　　児童生徒　全55回 スマイリング　全6回 教員向けワークショップ：令和7年7月31日（木）
講師	Ten seeds（劇・あそび・表現活動）、アフタフ・バーバン、劇団うりんこ、長与江里奈（ダンサー）
事業内容	コミュニケーションやダンス、演劇表現の要素を取り入れながら、子どもたちのコミュニケーション能力を伸ばし、自分を表現する、相手を受け入れることのできる心身づくりをする。 【児童のためのココロとカラダワークショップ】 市内小学校　児童対象　クラス単位の90分間のワークショップ （前期）4月～7月（後期）10月～12月　※各校相談により時間設定　全55回実施 【スマイリングワークショップ】 市内不登校児童・生徒が通うスマイリングルームでのワークショップ （前期）5月～7月の木曜日10:30～11:45（後期）10月～12月の木曜日10:30～11:45　全6回実施 【教員向けワークショップ】　（教員2年目悉皆） 7月31日（木）　10:00～16:00　[会場] レセプションホール　1回実施
経費状況	収入　3,042,457円　　支出　3,509,784円　　収益率　86.7%
アンケート結果	・普段は控え目の子、勉強が苦手で授業で活躍する瞬間が少ない子も自主的に参加する時間がたくさんあって良かった子ども達が互いの違う考えや思いを受け入れ、それと組み合わせて一つになっていくところが学級経営に活かしたいと思った。（担任・小5） ・楽しくて10分しか遊んでいないかのように楽しかった。（児童・小3） ・ワークショップをやると友達になれたり話せたりするからいいなと思った。（児童・小4）
成果	「また今回のようなワークショップをやってみたいですか？」の問いにも、84.9%が「ぜひやりたい」・11%が「やりたい」と 、合計して95.9% が回答しているなど、アンケート結果からも高い評価が維持できている。 夏休みの教職員対象WS（2年目の教職員悉皆研修）では、時間の関係で講師講評の時間が充分にとれなかったことから、実施記録作成時に、講師のTen seeds ならびに 教育研究所担当教員（青木先生）講評テキストを最後に追加し、研究所を通して受講者へフィードバックした。 

事業名	地域の居場所における音楽ワークショップラボ

目的	地域の様々な居場所において、音楽的手法を用いたコミュニティプログラムを実施できる演奏家を養成し、演奏活動だけではない、地域との多様な関わり方を持つ演奏家を育てることを目的とする。

集客数	延べ 443人	席数	－	集客率	－	会場	音楽ロフト、 市内地区センター

開催日時	学び編：令和７年８月２日（土）～８月17日（日） 実践編：令和７年９月６日（土）～10月５日（日）

参加料	入場無料

講師	コーディネーター：石川清隆　／講師：佐野秀典、常盤成紀、大澤寅雄、岩崎洵奈、ムジタンツ 酒井雅代・山崎朋

事業内容	ワークショップの基本を共に学ぶ「学び編」と、学んだことを地域に活かす「実践編」を行い、地域の居場所と連携して音楽ワークショップを実施した。 【学び編】 8月2日（常盤成紀）、8月3日（大澤寅雄）、8月9日（岩崎洵奈・佐野秀典）、8月16日・7日（ムジタンツ） 【実践編】9月6日・7日（プログラム開発）、9月13日（桜ヶ丘地区センター）、9月15日（土田地区センター、川合地区センター）、9月16日（広見東地区センター）、9月20日（平牧地区センター）、9月24日（中恵土地区センター）に出向き、こども食堂に来る方々やおしゃべりサロンに来る方々に音楽ワークショップを届けた。最終日は、地区センターで出会った方々がアーラに集まり、楽器を一緒に演奏したり、歌ったりする参加型のコンサートを開催した。

経費状況	収入　2,998,000円	支出　2,628,838円	収益率　114.0%

アンケート結果	・久し振りにコンサートをきいて、とても感動しました。参加型で息子もびっくりするくらい集中して、時には思いっきり動いてたのしそうでした！！またぜひ参加したいです。 ・初めて、楽器の演奏を2才の子どもに聴かせてあげることができ真剣な表情できいている姿をみれて良かったです。ありがとうございました。 ・とにかくとても楽しかったです！素晴らしい音楽を聴きながら体を動かせて、１歳の娘も公演を最後まで楽しめました。またこの企画があれば絶対に参加したいです！

成果	養成講座で学び、実際に実践を積むことで、地域の演奏家がワークショップリーダーとしての素養を身に着け、演奏会だけではない様々なコミュニティプログラムを行える人材になることで、これまで手が届かなかった方々に音楽を届けることができた。また単独では演奏会への集客が難しい演奏家も、コミュニティプログラムを通して出会った人たちが応援に駆けつけてくれたり、今回の受講生の演奏家同士で合同演奏会を実施することで、多くの観客に演奏を届けることができる。また、今回、ワークショッププログラムを開発できたことで、地区センターでの活動も継続性が担保でき、地区センターにとっても地域の居場所機能を高めるメリットとなった。演奏家のとっても活動の幅が広がる枠組みを構築することができた。 

事業名	イチゴイチエフェス　in　ＫＡＮＩ　2025
目的	可児市のギターメーカーヤイリギターとBEGINの共同開発によって生まれた楽器「一五一会」を愛用する演奏家が集うのコンサートやワークショップ等を実施し、一五一会の発祥の地として、全国に可児市をPRすると同時に、市民の誇りとして一五一会という楽器を通じてコミュニティを醸成することを目的とする。集客を高めるためにアコースティックギターやエレキギターも含めて一日音楽が楽しめるイベントとして行う。
参加者数	473人　　席数　－　　集客率　－　　会場　水と緑の広場　他
開催日時	令和7年10月12日（日）　10時～17時
チケット	参加無料
出演者	【出演ゲスト】Half time Old　Vo.Gt 鬼頭大晴 【ワークショップゲスト】Gt 閑喜 弦介【公募】24組
市民参加	可児市大会出演者、公募で集まった一五一会 市民グループ、アーラまち元気部、市民ボランティア
事業内容	総勢24組の弾き語りライブの他､「Half time Old 鬼頭大晴（Vo.Gt）」のゲストライブや、ギタリスト閑喜弦介によるいろんな楽器を使った音楽ワークショップ、ヤイリギターの職人によるワークショップ、シェイカー楽器作り体験を行なった。 【プログラム】 ・可児市の子どもたち、親子らによる一五一会可児市大会 ・一五一会世界大会出場者らによる一五一会 演奏 ・公募して選ばれた演奏者による弾き語りライブ ・一五一会体験、音楽ワークショップ、楽器づくり ・一五一会・ギターの展示 ・飲食やハンドメイドのマルシェ 【関連企画】 ・可児市大会出場者向けの講座および練習会（7/26、8/6、8/20、9/17）
経費状況	収入　－　　支出　655,698円　　収益率　－
アンケート結果	・楽器の演奏も、ステージでの発表も初めてのことで、とても緊張した。貴重な体験ができ本当に良かった。 ・家族で舞台に立てて良い経験ができました。 ・出演者の演奏、新しい弾き方やステージを知ることができた。 ・一五一会のワークショップが、良く考えられていて、教え方もとてもわかりやすかったです。
成果	市内で「一五一会」の普及が進んでいる。発表会やワークショップなどの企画が音楽の学びを深める場となっており、可児市、アーラ、ヤイリギター、神田商会による官民連携の組織体制も構築されてきた。「まち元気部」の学生が弾き語り枠や運営ボランティアとして参加し、地元への愛着を深めることができた。フリースクールの生徒たちもステージに立ち、仲間と演奏する喜びを分かち合った。イベント後も市内で一五一会ワークショップが開かれるなど、その波及効果が広がっている。 

事業名	アーラ・イルミネーション

目的	市民をはじめとするより多くの人々にアーラで集い、憩い、さらなる交流の輪を広げる機会を提供することで、アーラが可児市のランドマークとしての役割を益々高めることを目的とする。

参加者数	145人	数 －	集客率 －	会場 水と緑の広場
開催日時	令和7年12月5日（金）～令和8年1月12日（月・祝）※休館日除く			
チケット	参加無料			
参加者	点灯式に家族や友人が参加			
市民参加	点灯式参加者、木曽川トリベール			

事業内容

可児市文化創造センター「水と緑の広場」のケヤキ、石垣及び石垣上部への、イルミネーションライトを設置した。地元のボランティア団体・木曽川トリベールによる竹あかりを不定期で設置した。

【点灯式】
参加者がイルミネーションの点灯スイッチを押した後、イルミネーションを背景に撮影した写真でカードを作成してお渡しした。
点灯時は、職員が参加してのカウントダウン。

経費状況	収入 111,959円	支出 1,247,374円	収益率 9.0%

アンケート結果

【点灯式参加理由】
・家族同士の思い出づくりのため
・2012年から毎年楽しみにしているから
・息子の誕生日の記念として　など

成果

特に12月のクリスマスシーズンは学校帰りの中学生や家族がイルミネーションに訪れ、連日来館者でにぎわっていた。
地元のボランティア団体・木曽川トリベールによる竹あかりも好評で、地域性を取り入れた「まちのイルミネーション」となった。



事業名	まち元気リンクワーカー養成講座

目的	地域のウェルビーイングの向上のため、文化芸術をきっかけにした持続可能な地域の支え合いネットワーク「まち元気プラットフォーム」を広げ、地域の中で「困っている人と支えたい人」「やりたいことと応援したい人」をつなぐ役割を担う人を育成する講座。
集客数	参加者 延べ194人　　席数　－　　集客率　－　　会場　研修室他
開催日時	令和７年12月20日（土）～令和８年３月31日（火）　全11回
参加料	無料
講師	唐川恵美子、水谷祐哉、密山要用、森合音
事業内容	令和７年度（第３期）は、令和７年12月から令和８年３月にかけて実施した。孤立を防ぎ文化芸術で人や場を繋ぐ「まち元気プラットフォーム」の担い手育成を目的とし、顔合わせ、専門家によるレクチャー、市内連携先（ごちゃまぜアートの会、三々五々）でのフィールドワーク、実践に向けたグループワーク、成果報告会を展開した。医療・福祉・教育の専門職に加え、一般市民や中高生（まち元気部）、過去の修了生も交えた多様なメンバーが参加し、地域における居場所づくりの知見を深めた。
経費状況	収入　189,135円　　支出　308,097円　　収益率　61.4%
アンケート結果	【成果報告会にて】 ・『支援する・される』の関係から解放され、フラットに混ざり合う心地よさを知った。 ・自分が教えるのではなく、ただ音を楽しむ『余白』を作れば、人は自発的に楽しむと気づいた。 ・『ありのままでいい』という言葉に救われ、マイペースに繋がる可能性を見出せた。 ・評価やダメ出しがなく、やりたいことを発信すると誰かが乗っかってくれる環境だった。 他者の実践や自己開示に触れて感動する姿が多く見られ、参加者間に評価を伴わない温かい共感と連帯が生まれた。
成果	医療・福祉・教育の専門職から一般市民、中高生（まち元気部）まで多様な受講生が集い、属性や役職を越えた「ナナメの関係性」が構築された。受講生たちは地域の中で孤軍奮闘するのではなく、自身の弱さを開示し、他者の資源を頼りながら仲間とプロジェクトを動かすネットワーク化の視点を獲得した。受講生による自発的な活動（ごちゃまぜアートの会、ぬいちくの会等）も活発化しており、公立文化施設を安全な「第３の居場所」として活用しながら、市民同士が温かい「おせっかい」を焼き合う生態系が着実に育っている。



事業名	まち元気そうだん室
目的	地域の社会的孤立を予防・緩和するため、文化芸術を活かして「地域での人のつながり」を処方するプラットフォームとなることを目指し、劇場に「まち元気そうだん室」を開設する。認知した社会課題や、まち元気部の活動や、その他事業でよせられた市民のニーズや課題をふまえ、定期的に「まち元気ラウンドテーブル」を開催し、行政、社会機関、学校、NPOや市民活動など諸機関との横の連携、情報共有を図り、社会課題に地域として対応するプラットフォームを形成する。
集客数	相談者22組　　席数　－　　集客率　－　　会場　創造スタッフ室　他
開催日時	通年　ラウンドテーブル4回
参加料	無料
事業内容	【まち元気そうだん室】 日時：随時　計22回 【まち元気ラウンドテーブル】 4月14日（月）10:00-12:00 、13:00-15:00 11月6日（木）15:00-17:00 11月20日（木）10:00-12:00 （参加者） 特定非営利活動法人　可児市NPO協会 meets ／社会福祉法人可児市社会福祉協議会 ／可児市PTA連合会 ／可児市教育研究所 ／特定非営利活動法人可児市国際交流協会 フレビア／可茂自悠学舎
経費状況	収入　18,417円　　支出　30,000円　　収益率　61.4%
成果	まち元気ラウンドテーブル参加者からは、地域活動のあり方を見直す声があがった。また、支援の現場からは「複合的な困難を抱える家庭が増加している」といった切実な現状が語られた。さらに、「外国にルーツを持つ家庭が、疎外感を持っている」という指摘や、対話の重要性を訴える意見も寄せられた。 社会福祉協議会、NPO協会、教育機関、alaなど、分野の異なる機関が定期的に集い、「社会的孤独を防ぐ」という共通目的のもとで横断的な情報共有を行うプラットフォームを構築するため取り組むことができた。具体的な成果として、各団体が個別に持っているボランティアや市民活動団体の名簿を、システムを活用して一元化・共有する仕組みづくりの検討がスタートした。また、子ども支援の領域では、新たにネットワーク会議が立ち上がり、既存の支援活動を見える化し、団体同士が相互に助け合える連携の土台が形成されるなど、生態系のような地域ネットワークの広がりが見られた。

事業名	**劇場に関わる人のためのアーツマーケティング・ゼミ「あーとま塾2025」**
目的	アーラの鑑賞者開発の取組みや、地域貢献及び社会的包摂に関する考え方と具体例を題材に劇場関係者と意見交換し、社会機関としての劇場運営とアーツマーケティングについて学び合うことを目的とする。
参加者数	参加者 延べ101人　　席数　－　　集客率　－　　会場　音楽ロフト　他
開催日時	令和８年２月18日（水）、19日（木）
講師	【講師】絹川 友梨、衛紀生、柴田 英杞、渡邊 淳司 【コーディネーター】半田将仁、今尾江美子 【スタッフ】永坂 正和、松岡 弘樹、西田 充晴、久保田 力、長野 多恵、渡部 和哉
事業内容	「文化芸術推進基本計画（第２期）の進捗を把握するために活用する指標（案）整理表」と「文化に関する世論調査―ウェルビーイングと文化芸術活動の関連―報告書」や、地域としてのウェルビーイングのISO推進などを題材にワークショップ・レクチャー・クロストークを実施。 ワークショップ（体験）→ レクチャー（理解）→ クロストーク（実践への翻訳）という流れで進行し、文化芸術分野の評価におけるウェルビーイング指標導入の意義と課題について、現場の実践を評価する新たな方法を模索した。
経費状況	収入　404,978円　　支出　990,016円　　収益率　40.9%
アンケート結果	・グループワークの中で、講師や自分の知識だけでなく、複数人との意見交換ができた。また、２日間通して同じチームだったことで、お互いの仕事内容や取り組みを知る時間がありました。ウェルビーイングについても、年代によっても少しずつ考え方や捉え方が違い、面白いと感じました。 ・人それぞれ、同じ人でも立場によってウェルビーイングが違うことを理解し、意識することで現場の見方が変わると思いました。
成果	今年度は「ウェルビーイング（SensingからLogicへ）」をテーマに、全国の劇場・文化施設関係者を対象としたゼミを実施した。従来の動員数といった定量的な結果（アウトカム）の測定から一歩踏み出し、事業プロセスで生まれる「関係性の変化」や、誰もが安心できる居場所としての「土壌（インフラ）」の価値をどう可視化するかについて深い議論を交わした。事後にはオンラインでのふりかえりミーティングも実施し、現場の小さな変化（マイクロハピネス）を掬い上げる重要性が共有され、全国の施設間における「知縁のプラットフォーム」をさらに強固なものとする成果を上げた。 

事業名	**東日本大震災復興支援　能登半島地震被災者支援 祈りのコンサート2026　～被災地へ届け、私たちは忘れない～**
目的	東日本大震災と能登半島地震の被災者の長く困難な復興のために、今年度も支援コンサートを開催する。公演の収益と、お客様からいただいた支援金は、被災者の心の復興のために現地で活動している被災者支援団体に寄託する。
参加者数	365人　　席数　963　　集客率　37.9%　　会場　主劇場
開催日時	令和8年3月8日（日）14時開演
チケット	全席指定　1,000円
出演者	ソプラノ：熊田祥子、ハープ：高野麗音、ナビゲーター：佐野 秀典
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	東日本大震災をはじめとする自然災害で犠牲になられた方々の鎮魂と、被災者の心の復興を祈るコンサートを開催した。 【募金の寄託先】 気仙地域傾聴ボランティア「こもれびの会」､陸前高田市傾聴ボランティア こころのもり、公益財団法人ほくりくみらい基金「能登とともに基金」、劇・あそび・表現活動 Ten seeds 【プログラム】 〈日本の情景と祈り〉　岡野貞一：朧月夜／山田耕筰：この道／武満徹：小さな空／團伊玖磨：花の街／坂本九：見上げてごらん夜の星を／東日本大震災復興支援ソング：花は咲く〈フランス・西洋の調べ〉 フォーレ：夢のあとに／ドビュッシー：星の夜／プーランク：愛の小径／プッチーニ：歌劇《ジャンニ・スキッキ》より“私のお父さま”／ヘンデル：ハープ協奏曲 変ロ長調 HWV 294 【協賛】 株式会社カラビナ、株式会社トイ・ファーム、株式会社 ワンズ・プランニング、岐阜県舞台設備管理事業協同組合、じゃぱんSANDWICH、ホテルルートイン可児、丸理印刷株式会社（敬称略・順不同）
経費状況	収入　352,000円　　支出　352,000円　　収益率　100.0%
アンケート結果	・ソプラノとハープの生音の響きが心地よく、優雅な時間を過ごせた。 ・ナビゲーターの温かい進行と選曲が素晴らしかった ・15年もの間、復興支援を継続している劇場の姿勢に感動した ・追悼の区切りとして冒頭に黙祷があった方が良い
成果	アンケート調査では91％という極めて高い満足度を獲得した。お客様からは「15年もの長きにわたり支援を継続している劇場の姿勢に感動した」「やわらかな歌声とハープの音色、温かな進行により意義深い時間を過ごせた」といった声が多数寄せられた。被災地の心のケアを支援するという目的を十分に果たせただけでなく、市民キャストの参加により、地域住民が自ら復興支援に携わるという力強い連帯のメッセージを社会に向けて発信することができた。 

事業名	可児市ジュニア音楽祭 2025

目的	地域で活動する若い世代の音楽団体が一堂に会し発表をする場を設けることで、活動団体の活性化とレベルアップを図る。また、総合音楽祭として様々なジャンルの音楽を鑑賞できる機会を広く市民に提供する。

集客数	870 人	席数	1,019	集客率	85.4%	会場	主劇場

開催日時	令和 7 年 6 月 29 日（日）　13 時開演
チケット	入場無料
出演者	18 歳以下の子どもが主体で、市内を主な拠点として活動している団体。
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	【出演団体】 西可児中学校吹奏楽部、東可児中学校吹奏楽クラブ、広陵中学校吹奏楽部地域クラブ、蘇南中学校吹奏楽部、中部中学校吹奏楽クラブ、Twinkle Little Stars、帝京大学可児高等学校中学校吹奏楽部

経費状況	収入	1,248,000 円	支出	708,342 円	収益率　176.2%

アンケート結果	・近くの中学が出るので来ましたが、思いのほか楽しかったです。とても上手な子もいますね。 ・中高生の初々しい演奏を聴けて良かったです。 ・素晴らしい演奏を無料でみさせてもらいありがとうございます。みなさんがこれらかも楽しく演奏できますよう、応援しています。

成果	出演団体数は前年から１減１増で変わらず。学校以外の１団体が入れ替わり、目新しさが出た。鑑賞者数もあまり増減無く、全体的に盛り上がっていた様子だった。団体入れ替え時の団体紹介を完全に各団体に任せることで、独自色を出す団体も出てきた。全体の進行が単調にならない様、更にバリエーションを増やしていきたい。



事業名	第44回可児市美術展					
目的	美術を通して豊かな人間性を育て、芸術・文化のかおり高いまちづくりを進めることを目的とする。					
集客数	出展数 253点 集客数 1,449人	席数	－	集客率	－	会場	ロフト、 ギャラリー他
開催日時	令和7年11月19日（水）～11月23日（日） 9時30分～18時（23日は15時45分まで）						
市民参加	企画、方針の決定（市民運営委員）						
事業内容	・洋画、日本画、書道、彫塑工芸・デザイン、写真の５部門を募集した。 ・各部門の作品を専門の審査員により審査し、賞を決めた。 ・入選以上の作品を展示し、一般公開した。 ・各部門上位5賞（市美術展賞、市長賞、議長賞、教育長賞、光秀賞）と、高校生対象の薔薇賞を受賞した者に対し表彰式を行った。						
経費状況	収入 2,931,500円	支出 2,516,584円	収益率 116.5%				
アンケート結果	・アーラに立ち寄り、すばらしい芸術に触れることができました。 ・丁寧に飾っていただき、うれしく思いました。 ・以前に比べて若い方の出品が多く、意欲的な作品が多くびっくりしました。						

成果

昨年度は来場者、出品者共に減少傾向であったが、今年度から実施した高校生の出品料無料の変更が功を奏し、出品者、来場者共に増加という結果となった。来場者アンケートでも若い世代の出品が多いことを好意的に捉える声が多くあった。また、家族で展示を訪れる方も多く、展示期間中は賑わいが感じられた。



事業名	第33回可児市文芸祭

目的	可児市における文芸への創作意欲を高め、文芸活動の振興を図るとともに芸術のかおり高いまちづくりを進めるもの。また、朗読会を実施することを通じて、文芸作品を作るだけでなく、耳からも楽しむ機会を提供する。

集客数	応募人数 4,418人	席数	－	集客率	－	会場	ギャラリー、 演劇ロフト

開催日時	【展示】令和7年12月3日（水）～12月7日（日） 【朗読会】令和7年12月7日（日） 14時開演

市民参加	市民運営委員（企画、方針の決定）

事業内容	○一般の部 短編小説、随筆、現代詩、短歌、俳句、川柳、狂俳、俚謡の８部門を一般より募集して審査。 優秀賞以上の作品を会期中、ギャラリーに展示。最終日に表彰式と文芸祭賞受賞作品の朗読会を開催した。 ○小・中学生の部 詩・作文、短歌、俳句の３部門を市内の小・中学生より募集して審査。特選以上の作品を展示した。 一般の部応募状況：1,268人2,404点　　小・中の部応募状況：3,150人3,150点 優秀賞以上の作品についてはギャラリーに展示し、最終日に表彰式と、受賞作品の朗読会を開催した。 朗読会：永川ゆり（文学座）

経費状況	収入　2,383,000円	支出　1,861,259円	収益率　128.0%

アンケート結果	【ギャラリー】 詩・短歌等、各々の個性あふれる言葉たちを感じさせていただきありがとうございます。感謝いたします。あったかくほっこりしました。これからもこの企画が続かれることを願います。 【朗読会】 可児市の文芸祭の運営はとても丁寧だと思います。小中学生の作品の質が高かったり、応募数が多いのは、運営のよさがあることも大きな理由だと思います。「冬の朗読会」の取り組みも他市にはないものだと思います。

成果	募集から審査、表彰式まで、昨年同様滞りなく行うことができた。応募数は小中学生の部では大幅に増加し、一般の部は昨年度より減少したものの、昨年国民文化祭の事業の一環として行った影響力を考えればほぼ横ばいと考えられる。 市内からの応募は昨年並みだったが、県内の募集要項設置個所を増やしたことにより、可児市除く岐阜県内からの応募割合は増加した。

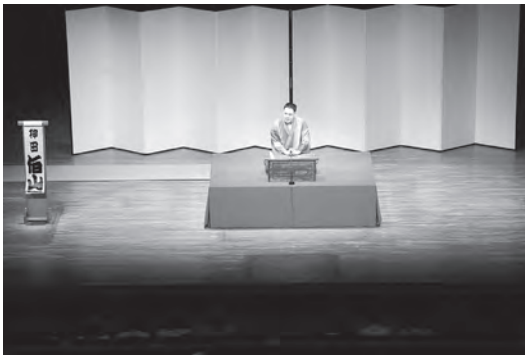


事業名	市民活動支援 アーラ紙芝居一座支援
目的	平成27年度に文学座朗読ワークショップに参加した市民で構成するアーラ紙芝居一座を支援し、市民の文化芸術活動の促進を図る。子どもを主な対象とした紙芝居公演を実施し、将来の鑑賞者育成を図る。
集客数	参加者14人 集客数70人　　席数　－　　集客率　－　　会場　下記参照
開催日時	【稽古】令和7年5月～令和8年3月 【公演】令和7年7月27日（日）、令和8年3月20日（金・祝）
出演者	アーラ紙芝居一座　14人
市民参加	アーラ紙芝居一座　14人
事業内容	文学座の演出家を招いたワークショップにより結成された市民で構成する紙芝居一座の活動を支援し、子どもを対象にした紙芝居作品の制作、公演を支援した。 【稽古】5月25日（日）、6月8日（日）、7月6日（日）、7月19日（土）、7月26日（土） 会場：可児市文化創造センター 【本番】7月27日（日）　可児市文化創造センター（まち元気EXPO内で実施）　集客30名 【稽古】3月7日（土）、3月14日（土）、3月19日（木） 会場：可児市文化創造センター 【本番】令和8年3月20日（金・祝）　カニミライブ　集客40名
経費状況	収入　5,972円　　支出　21,426円　　収益率　27.9%
成果	本活動は今年で11年目を迎えた。新規メンバーの参加を継続的に得ながら、参加者が高いモチベーションを維持し、楽しみながら活動を継続できている点は大きな成果である。また、今回は「まち元気EXPO」のプログラムとして作品を披露したことで、可児市内外の劇場関係者および一般市民に本活動を広く周知する機会となり、活動の認知向上につながった。



事業名	アーラまち元気部
目的	近年では学校部活動が外部化しており、地域の中で持続的な文化芸術活動が子どもたちに行われることが求められている。これまでのアーラまち元気プロジェクトのプログラムを活かして子どもたち、そして地域の繋がり回復を軸とした多世代交流の取り組みとして様々な場づくりを創出することを目的とする。
集客数	参加者 延べ186人　　席数　－　　集客率　－　　会場　各所
開催日時	令和７年４月27日（日）～令和８年３月22日（日）
参加料	無料
市民参加	市内在住または在学の中学生・高校生23人、まち元気リンクワーカーメンバー
事業内容	学校の枠をこえてアーラに集まった中高生たちが、地域の様々な人たちと交流しながら、まちを元気にしていく活動を行った。 【日時】：４月～３月のうち指定日（全45回） 【会場】：ala館内および地区センター等の地域の居場所等 【対象】：市内在住または在学の中学生・高校生（サポートとして大学生世代も可） 【登録人数／活動累計人数】：23人／186人 【講師】ごちゃまぜアートの会
経費状況	収入　416,078円　　支出　530,359円　　収益率　78.5%
アンケート結果	・いろんな人と関わることで自分の将来の選択肢が増えました。 ・自分の思ったことを相手に伝えること、初めての方に話しかける勇気を持てるようになりました。 ・自分より小さい子どもや、地域の大人たちの会話をする機会が増えました。 ・まち元気部が主体となって、地域が楽しめるイベントをしたい。進行の仕方、運営についても学びたい。 ・元気部のおかげで、アーラとの距離感が近くなった。アーラが自分の居場所と感じられるようになりました。
成果	アーラの事業だけでなく、多様な地域活動にもボランティア参加をすることができた。こども食堂とアートワークショップを展開する「ごちゃまぜアート食堂」、まち元気EXPOでの「忍者ワークショップ」、岐阜市の「こよみのよぶね」など、地域の人と関わりながら一つのものを創り上げる体験をし、地域のお祭りを盛り上げることに貢献することができた。こうした活動を地域のラジオ局（FMらら）で報告し、自分自身の言葉で発信することを体験してきた。４年活動を継続してきたことで、地域側から元気部に関わってほしいというオファーをいただけるようになり、ケーブルテレビ可児の番組の歌づくりや、児童センターの夏休みのイベントのお手伝いなど行った。次年度も元気部と一緒にまちを元気にしたいという地域側からのオファーがあり、より活動の幅が広がりそうである。 

事業名	松鯉・伯山親子会
目的	近年の講談ブームを巻き起こした立役者の神田伯山とその師匠の神田松鯉との親子会を共催として当センターで実施することで、古典芸能のファンのみならず、より多くの一般市民の方々に話芸の魅力を伝えながら、新たな顧客の拡大を図る。
集客数	690人　席数　690　集客率　100.0%　会場　主劇場
開催日時	令和7年8月3日（日）14時開演
チケット	全席指定　4,300円
出演者	神田松鯉、神田伯山
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	人気講談師神田伯山とその師匠であり神田松鯉による親子会。毎年岐阜県内で開催している人気公演を共催公演としてアーラで開催した。 【演目】 神田松鯉：道場破り 神田伯山：出世浄瑠璃 神田松鯉：丸利の強情 神田伯山：荒田大名の茶の湯 神田松鯉：雨夜の裏田圃
経費状況	収入　443,760円　支出　0円　収益率　－
アンケート結果	・とても面白かったです！初めての講談でしたが楽しめました！ ・初めてこのホールに入りました。とてもすばらしいホールです。ウッディな作りが親しみを感じさせてくれました。また音が良いように感じました。親子会、たいへん楽しめました。 ・隔年でも、数年毎でもいいので、また親子会をアーラで開催してほしいです。
成果	人気講談師神田伯山と、その師匠で人間国宝の神田松鯉の出演で、多くの方の期待に応える公演を実施できた。また、公演前の注意喚起の徹底により、公演中に携帯電話の着信音・通知音が鳴ること等もなく、出演者の芸の魅力が遺憾なく発揮された質の高い公演を楽しんでいただくことができた。



事業名	**矢野顕子さとがえるコンサート2025 featuring小原礼・佐橋佳幸・林立夫〜30th Anniversary〜**
目的	市民が求めるアーチストを招き、幅広い層に受け入れられるポップス系のコンサートを楽しむ機会を提供する。
参加者数	559人　　席数　880　　集客率　63.5%　　会場　主劇場
開催日時	令和7年12月6日（土）18時開演
チケット	全席指定　8,800円
出演者	矢野顕子、小原礼、佐橋佳幸、林立夫
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	ニューヨーク在住の音楽家･矢野顕子が､平成８年から毎年日本に“里帰り”して開催する、年末恒例のコンサートツアー。年末の慌ただしさを忘れさせ、心にそっと灯をともす矢野顕子の歌声。そしてその年にしか実現しないトップミュージシャンたちを迎えた一期一会のコラボレーション。ジャンルを超越した矢野顕子の音楽の世界を堪能できるコンサートを開催した。 【プログラム】 春咲小紅､夢のヒヨコ､てはつたえる→てつだえる､Super Folk Song Returned､魚肉ソーセージと人、ニットキャップマンイント、YUMEDONO、Water Ways Flow Backward Again、Mr. Spaceman（Acoustic)、音楽はおくりもの、Do you love me？愛されたいおれら、PAPER DOLL、クリームシチュー、ひとつだけ、GREENFIELDS、生きものたちへ、ラーメンたべたい
経費状況	収入　369,600円　　支出　55,783円　　収益率　662.6%
アンケート結果	・名古屋までは行けない両親と行けたので喜んでもらえて嬉しい時間が過ごせました。 ・ピアノの音が良いせいか、矢野さんが気持ちよさそうな伸びやかな歌声が聴けた。 ・すてきなホールで大好き。以前、森山ジャズナイトの時もそう思ったのですが、JAZZ寄りにマニアックなコンサートをガンガンやってほしい。
成果	市外からの来場者が80%に達しており広域からの集客がなされている。公演の満足度も93%と高い。名古屋に行かなくても、質の高いライブを素晴らしい環境で楽しめる、という価値を強く印象づけることができた。市外からの新規客が多いため、単発の来場にならないように、質の高いジャズコンサートを聴けるホールとして今後も発信していきたい。



事業名	ウィーン Ｖ．ルジェリウスピアノ三重奏団
目的	敷居が高いと捉えられがちなクラシックコンサートを気軽に親しんで頂く機会として実施する。令和７年度で、アーラで19回目となる恒例のコンサートであり、ウィーン仕込みの演奏と、曲の背景やウィーンの文化に関するトークで、一定のリピーターとなる観客だけでなく、初めてのクラシックコンサート体験としても満足感が得られるものとする。
集客数	178人　　席数　308　　集客率　57.8%　　会場　小劇場
開催日時	令和７年７月19日（土）　14時開演
チケット	全席指定　一般　3,000円　　25歳以下　1,500円
出演者	ウィーン Ｖ.ルジェリウスピアノ三重奏団
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	ウィーンの古典派ヨハン･シュトラウスをはじめとする幅広いレパートリーと、クラシックの歴史や演奏曲に関する逸話、ウィーンの文化などを折り込んだ楽しいトークによるコンサートを開催した。 【プログラム】 F. クライスラー：シンコペーション F. クライスラー：愛の哀しみ F. シューベルト：アヴェ・マリア ヨハン・シュトラウス２世：アンネンポルカ F. クライスラー：前奏とアレグロ M.ラヴェル：水の戯れ ヨハン・シュトラウス２世：ロマンス 第２番 J. ブラームス：ハンガリー舞曲 第６番 ヨハン・シュトラウス２世：ポルカ「トリッチトラッチ」 ヨハン・シュトラウス２世：ワルツ「ウィーン気質」
経費状況	収入　57,915円　　支出　71,368円　　収益率　81.1%
アンケート結果	・これまでに何度もアーラに来てくださっているようですが、わたしは初めてでした。どんなご縁で可児へ来てくださるようになったのでしょうか。曲の説明やウィーンでのお話をはさみながらの演奏で、とてもよい時間を過ごさせてもらいました。ありがとうございました♫ ・素敵な演奏に胸がふるえました。ありがとうございました。 ・曲のお話など楽しいお話もあり、楽しくすごすことができました。音色もすばらしく、ほんとうに素敵なコンサートでした。すんだ空気につつまれ、いつもの空気と同じなのに、不思議な感じがしました。
成果	集客については、目標の200人には僅かに届かなかったものの、来場者数は178人となった。毎年継続して実施しているコンサートであり、開催を楽しみにしている固定ファンが多く、集客は全体として安定していると評価できる。 満足度については94%と、目標を大きく上回る結果となった。その要因として、演奏とトークを絶妙に織り交ぜた構成の魅力に加え、森川夫妻と黒木氏が長年にわたり培ってきた強い信頼関係が、チームワークの良さとして舞台上に表れ、劇場全体に心地よい空気感を醸成したことが挙げられる。この一体感が観客のリラックスを促し、高い満足度につながったと考えられる。



事業名	新日本フィルメンバーと仲間たち
目的	地域拠点契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーらが弦楽四重奏を結成し、クラシック音楽を小劇場の空間で気軽に親しんで頂く機会とする。
参加者数	210人　　席数　305　　集客率　68.9%　　会場　小劇場
開催日時	令和7年8月17日（日）14時開演
チケット	全席指定　一般　3,000円　　25歳以下　1,500円
出演者	山本美樹子（ヴァイオリン）、三雲はるな（ヴァイオリン）、脇屋冴子（ヴィオラ）、長谷川彰子（チェロ）
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	新日本フィルハーモニー交響楽団のチェロ首席奏者である長谷川彰子（多治見市出身）が中心となり、選りすぐりのメンバーで弦楽四重奏を結成し、コンサートを実施した。 【プログラム】 モーツァルト：ディヴェルティメントニ長調 K.136 ベートーヴェン：弦楽三重奏のためのセレナーデ ベートーヴェン：弦楽四重奏曲嬰ハ短調レクチャー ベートーヴェン：弦楽四重奏曲嬰ハ短調 作品131
経費状況	収入　73,170円　　支出　59,758円　　収益率　122.4%
アンケート結果	・いつも多種にわたり企画されてすばらしいと感心しています。少々遠いですが通っています。難しい曲ですが長谷川さんの解説や楽器の役割や位置づけなどわかりやすかったです。山本さんの真摯な向き合い方や解説（時代背景など）でより美しい音楽が楽しめました。 ・ベートーベンの難曲、しかし解かり易く、聴き易いプログラムでした。しかし、すばらしい曲ですね。
成果	来場者満足度が総じて高かった。特に演奏の質、選曲の良さ、親しみやすさが肯定的に受け止められた。また、文化体験へのアクセスを拡大できた。アンケート自由意見にも「地域で質の高い音楽が聴ける」などの声があり、近隣住民にプロ水準の音楽鑑賞機会を提供できた。 広報面の効果（口コミ的拡散と新聞）。域連携型の文化発信に寄与した。



事業名	**音楽家の集いVol.84～86 みんなでうたう！オーケストラコンサート おやこでうたうコンサート**
目的	難解で高価であるというイメージを持ちクラシック音楽から足を遠ざけている市民を、奏者と観客が近い空間を作ることで、一体感を感じとっていただき、また手頃な値段をきっかけに気軽に鑑賞できる機会を提供する。
集客数	458人　　席数　864　　集客率　53.0%　　会場　音楽ロフト、主劇場
開催日時	下記参照
チケット	【音楽家の集い】　全席自由　800円 【みんなでうたう！オーケストラコンサート】 全席自由　一般　800円　　中学生以下　500円 【おやこでうたうコンサート】全席自由　一般　800円　　中学生以下　500円
出演者	下記参照
事業内容	【音楽家の集い】 9/28（日）vol.84　工藤雄司、首藤友里　クラリネットとピアノで奏でるめいきょくたち 12/14（日）vol.85　古井麻美子、松下寛子　ノスタルジック・クリスマス ～フリッツ・クライスラー 生誕150周年に寄せて～ 3/22（日）vol.86　趙知奈、福田紗永、野口夏菜　春うららのコンサート 【みんなでうたう！オーケストラコンサート】 8/ 2（土）　11時開演　　指揮：濵津清仁　うた・司会：鷲見真純 管弦楽：音楽家の集い室内オーケストラ （コンサートマスター：古井麻美子） 【おやこでうたうコンサート】　9/29（日）　工藤雄司、首藤友里、鷲見真純 12/14（日）　古井麻美子、松下寛子、鷲見真純 3/22（日）　趙知奈、福田紗永、野口夏菜
経費状況	収入　46,110円　　支出　110,322円　　収益率　41.8%
アンケート結果	【みんなでうたう！オーケストラコンサート】 ・すごく良かった！子どもが楽しめていた。値段も購入しやすく、時間もちょうどよい感じです。 【おやこでうたうコンサート】 ・おやこでうたうコンサートということで子供に音楽に触れる機会があって良かったです。 【音楽家の集い】 ・生演奏がみられるのは最高です。機会ある毎に、絶対来ます。いつまでも続けてくださいね。ありがとうございます。
成果	前年度、主劇場で開催した「みんなでうたうオーケストラコンサート」を規模を縮小した室内オーケストラで、小劇場にて開催した。「音楽家の集い」と「おやこでうたうコンサート」の出演者が中心となって結成されたオーケストラが出演し、クラシックの名曲などを演奏。また、「おやこでうたうコンサート」は毎公演好評で、9月、12月の「おやこでうたうコンサート」は2回とも完売し、アンケートでもほぼ全員が「大変良い・良い」と回答するなどいずれも満足度の高い公演となった。また、「おやこでうたうコンサート」は毎回「初めて公演に来た」という家族も多く、0歳児から入場できる公演の需要の高さを改めて感じた。

事業名	**可児常磐津教室　巴瑠の会** **第十二回おさらい会**
目的	継承者が少なくなっている古典芸能分野における市民活動を支えることで、邦楽を体験する場を後世に引き継ぎ、市民による文化活動を豊かにする。また、成果発表の場である「おさらい会」を共催し、プロの演奏家と実施することで、聴く機会が少ない本格的な邦楽演奏を地域の方に広く気軽に楽しんでいただくことを目指す。
集客数	104人　　席数　311　　集客率　33.4%　　会場　小劇場
開催日時	令和8年2月7日（土）　13時開演
参加料	全席自由　　入場無料
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	古典芸能分野の共催事業として常磐津教室の運営補助と発表公演であるおさらい会を開催した。 【常磐津教室】 おさらい会に向け講師を招き、月1回程度の稽古を行った。 講師：常磐津巴瑠幸太夫　常磐津教生徒（10名） 【おさらい会】 地域の方にも気軽に常磐津を楽しんでいただけるよう公演形式で成果発表した。入口にて来場者に演奏曲目を全曲収めた詞章（歌詞）を配布した。 出演：常磐津教室参加者10人、常磐津巴瑠幸太夫（講師）　賛助出演：西川三寿生（舞踊）、岸澤式松（三味線）、常磐津三都貴（三味線）
経費状況	収入　－　　支出　－　　収益率　－
アンケート結果	（常磐津教室参加者） ・毎年遠方から孫が見に来ておばあちゃんすごいねと言ってくれる。生きがいになっている。 ・アーラとの協力もあり長く続けてこられたことと先生に感謝。 （来場者の声） ・知り合いが出ているが、だんだん上手くなってきたのを感じる。
成果	当初の予定通り、常磐津教室の運営補助と発表公演であるおさらい会を開催することができた。来場者数は104名とこれまで大きく変わらない人数であったが、最初から最後まで集中して聴いている方が多かったことが印象的だった。生徒の上達により公演のレベルが上がったことが一因と考えられ、継続の効果と感じられる。また、今年度は講師が「歌舞伎とおしゃべりの会」にゲスト出演する機会があり、「歌舞伎とおしゃべりの会」の参加者から今後の参加を希望する声もきかれた。生徒数は当初から大きく減少することなく10名以上を保ち続けている。小劇場でのおさらい会が参加者の励みになり、参加継続につながっていることは共催の成果と言える。 

事業名	斎藤龍ピアノリサイタル ～楽都ウィーンの作曲家たち～
目的	「未来の演奏家」事業で可児市にも馴染みのあるピアニスト、斎藤龍によるピアノリサイタル。クラシックを気軽に、より身近に楽しんでいただける機会とする。
集客数	249人　　席数　311　　集客率　80.1%　　会場　小劇場
開催日時	令和8年2月14日（土）14時開演
チケット	全席指定　一般　2,000円　　25歳以下　1,000円
出演者	斎藤龍（ピアノ）
市民参加	フロントスタッフ
事業内容	モーツァルト、リスト、ベートーベンなどのウィーンにまつわる作曲家の作品を集めたコンサートを開催した。出演者による演奏曲や作曲家の解説トークを含む、親しみやすくも本格的なクラシックコンサートとした。 【プログラム】 モーツァルト：ピアノ・ソナタ第11番「トルコ行進曲」 ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第17番「テンペスト」ほか
経費状況	収入　109,040円　　支出　170,485円　　収益率　64.0%
アンケート結果	・解説があってとても良かったです。とてもていねいな演奏でした。ベートーヴェンの力強さがよく出ていました。また次回も斎藤龍さん、よろしくお願いします。 ・素晴らしいかった。ピアノだけのコンサートも良いと思った。 ・先日あったアーラ未来の演奏家プロジェクトで、斎藤龍さんのピアノリサイタルがある事を知り、ぜひ聴いてみたいと思い来ました。一音一音を大切に弾かれ、ある時は流れる様に、ある時は激しくと、ピアノの鍵盤が見える席ではありませんでしたが、指使いを想像するだけで、凄いなと思いました。
成果	券売が途中まで伸び悩んでいたものの、1月末の「アーラ未来の演奏家プロジェクト2025winter」参加、新聞掲載を通して増加し最終的には目標の200を大きく上回る結果となった。 アンケートでは過去のアーラでのコンサートやワークショップへ参加したことがある人、直前の未来の演奏家プロジェクトでコンサートを鑑賞した人も多くみられ、当財団事業へ定期的な参加が市民ファンの増加につながっていると感じた。 また、ピアノリサイタルへ一定数需要があることがうかがえる。普段アーラで行うことがない編成の演奏会をすることが、新規顧客を獲得する手段の一つとして有効ではないかと考えられる。



事業名	私のあしながおじさんプロジェクト
目的	地元企業・団体・個人から寄付を募り、それをもとに中高生へ舞台芸術に触れる機会を創出する。また､可児市「要保護及び準要保護児童生徒就学援助費」または「児童扶養手当」を受給している家族（小学生以上の子どもと保護者）を対象とした「私のあしながおじさんプロジェクト For Family」を市教育委員会、市福祉支援課協力のもと実施し、社会的弱者である家庭へ舞台芸術鑑賞機会を用意することで、社会包括機関としてのアーラの役割を果たす。
対象事業	①新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによるオープン・シアター・コンサート ②文学座公演「もうひとりのわたしへ」 ③新日本フィルハーモニー交響楽団　サマー・コンサート with 小曽根真 ④ウィーンＶ．ルジェリウスピアノ三重奏団 ⑤かに寄席　納涼 ⑥新日本フィルメンバーと仲間たち ⑦ alaCollection シリーズ　vol.16 「ハハキのアミュレット」 ⑧森山威男ジャズナイト 2025 ⑨石田組コンサートツアー 2025 ⑩シリーズ恋文　vol.15 ⑪ミュージカル「クリスマス・キャロル」 ⑫新日本フィルハーモニー交響楽団　ニューイヤー・コンサート 2026 ⑬かに寄席　初席
あしながおじさん	信和工業（株）、長江興産（株）、東濃建物管理（株）、市原産業（株）、（株）中日総合防災、東濃信用金庫、可児ライオンズクラブ、カヤバ（株）、（株）トイ･ファーム、（株）ワンズ･プランニング、三精工事サービス（株）、（株）新和建設美濃加茂支店、丸理印刷（株）、ヤマハサウンドシステム（株）、（有）亀谷電気商会、丸茂電機（株）、可児金融協会、個人3人（順不同、敬称略）
参加者	鑑賞者　延べ　245人
事業内容	企業・団体・個人から寄付をいただき、その金額分を公募した中高生、学校へ行きたくても行けない子どもたちの通うスマイリングルームの児童・生徒、就学援助費・児童扶養手当を受給する家庭にチケットとしてプレゼントし、公演を鑑賞していただいた。また、鑑賞後子どもたちから あしながおじさんへ毎回手紙を書いていただいた。
経費状況	収入　981,959 円　　支出　1,033,611 円　　収益率　95.0%
アンケート結果	・生で聴くのは想像していたよりも迫力や音の広がりがすごくて、とても感動しました。（「新日本フィルハーモニー交響楽団サマー･コンサート with 小曽根真」鑑賞 高校１年生） ・初めから吸い込まれるように、段々と見えてくる相関図にくぎ付けになりながら楽しみました。いろいろな人が絡み合い、混乱するのもリアルな描写で、とても引き込まれる作品でした。（「ala Collectionシリーズvol.16「ハハキのアミュレット」鑑賞」 高校1年生） ・落語を聴くのは初めてだったのですが、とても楽しむことができました。使っている道具は扇子と手ぬぐいだけだけど、表現で工夫されていて、自然に何をしているのかが伝わってきました。（「かに寄席　初席」鑑賞　中学2年生）
成果	鑑賞希望数は多かったものの、事前キャンセルも多く鑑賞者数は昨年度よりも若干減少した。協賛企業・団体・個人は、寄付金額は減少したが、昨年から継続していただいた企業・団体・個人に加え、新規協賛が2件あった。 昨年に引き続き、例年鑑賞者の少ない寄席や演劇公演は、他事業と合わせて広報を行ったり、別途県内の演劇部に募集を行った。全体的にはミュージカルやオーケストラコンサートなど、華やかで大規模な公演に応募が偏る傾向があった。

6 新聞掲載記事

掲載日		掲載紙	掲載事業
令和7年	4月12日	岐阜新聞	「一五一会」フェスに密着
令和7年	5月号	MEG	公演情報
令和7年	6月13日	中日新聞(夕刊)	文学座「もうひとりのわたしへ」来月可児公演
令和7年	6月19日	中日新聞	未来の演奏家　可児で音紡ぐ
令和7年	6月19日	岐阜新聞	可児で演奏家滞在プロジェクト始動 未来の演奏家
令和7年	6月19日	岐阜新聞	新日本フィルハーモニー交響楽団サマーコンサート
令和7年	6月21日	岐阜新聞	広見小児童、音楽家と交流 未来の演奏家
令和7年	6月26日	岐阜新聞	「一五一会」と出会いを 来月6日に体験会
令和7年	6月29日	中日新聞	劇場フロントスタッフ募集　可児のアーラ
令和7年	7月2日	岐阜新聞	劇場フロントやってみよう アーラ、養成講座参加者募る
令和7年	7月2日	岐阜新聞	笑顔の劇場　アーラ館長　篭橋義朗
令和7年	7月9日	中日新聞	文化芸術と共生　取り組み発信「まち元気EXPO」
令和7年	7月12日	毎日新聞	開催案内 エイブル・アート展～生活へのまなざし
令和7年	7月16日	中日新聞	新日本フィル観客魅了　可児で演奏会
令和7年	7月16日	中日新聞	新日本フィル弦楽四重奏団 可児「アーラ」で来月17日演奏会
令和7年	7月20日	岐阜新聞	市民と「まち元気EXPO」
令和7年	7月24日	岐阜新聞	アーラが26、27「まち元気EXPO」
令和7年	7月2日	岐阜新聞	素描　笑顔の劇場　アーラ館長　篭橋義朗
令和7年	7月9日	岐阜新聞	素描　アーラコレクション　アーラ館長　篭橋義朗
令和7年	7月16日	岐阜新聞	素描　教育長の資質　アーラ館長　篭橋義朗
令和7年	7月23日	岐阜新聞	素描　笑顔の学校　アーラ館長　篭橋義朗
令和7年	7月30日	岐阜新聞	素描　文化芸術から学ぶ　アーラ館長　篭橋義朗
令和7年	8月6日	岐阜新聞	素描　孤立、孤独に対する処方箋　アーラ館長　篭橋義朗
令和7年	8月13日	岐阜新聞	素描　成熟社会での文化　アーラ館長　篭橋義朗
令和7年	8月20日	岐阜新聞	素描　市民ミュージカル「君といた夏」 アーラ館長　篭橋義朗
令和7年	8月27日	岐阜新聞	素描 一人旅　アーラ館長　篭橋義朗
令和7年	8月29日	中日新聞	10月11日アーラで「森山威男ジャズナイト」
令和7年	9月13日	岐阜新聞	南果歩さんら市長にPR
令和7年	9月14日	読売新聞	南果歩さんら可児で舞台
令和7年	9月17日	中日新聞	稽古開始し市長訪問
令和7年	9月18日	中日新聞	アーラ　29日から公演「ハハキのアミュレット」

令和7年	9月19日	朝日新聞	ハハキのアミュレット広告
令和7年	9月20日	岐阜新聞	ハハキのアミュレット制作発表
令和7年	9月23日	中日新聞	可児で来月12日「イチゴイチエフェス」
令和7年	10月10日	岐阜新聞	アーラ　あしながおじさんプロジェクト
令和7年	10月12日	中日新聞	可児「あしながプロジェクト」贈呈式
令和7年	10月15日	中日新聞	可児でイチゴイチエフェス
令和7年	10月16日	中日新聞	可児で「森山威男ジャズナイト」
令和7年	10月29日	岐阜新聞	来月アーラで鑑賞会 えりすぐり映画味わおう
令和7年	10月30日	岐阜新聞	「一五一会」フェスで演奏
令和7年	11月7日	中日新聞	14日から可児 「アーラ映画祭」
令和7年	11月13日	中日新聞	アーラ映画祭2025
令和7年	11月19日	中日新聞	可児市美術展　入賞作品決まる
令和7年	11月20日	岐阜新聞	可児市美術展が開幕　5部門最高位決定
令和7年	11月20日	中日新聞	矢野顕子さとがえるコンサート公演情報
令和7年	12月5日	岐阜新聞	可児市で文芸祭、207点展示
令和7年	12月6日	中日新聞	可児でイルミネーション始まる
令和7年	12月9日	岐阜新聞	アーラでLED3万個点灯
令和7年	12月14日	中日新聞	こよみのよぶね用　可児アーラで展示
令和7年	12月17日	岐阜新聞	こよみのよぶねの「7」制作
令和7年	12月23日	読売新聞	船に巨大な行灯　今年を振り返る
令和7年	12月23日	朝日新聞	水面染め　去る年　こよみのよぶね
令和7年	12月23日	中日新聞	今年の記憶川照らす　岐阜で「こよみのぶね」
令和7年	12月23日	岐阜新聞	冬の風物詩　続く光　こよみのよぶね
令和7年	12月24日	朝日新聞	「こよみのよぶね」岐阜で20回目
令和8年	1月15日	岐阜新聞	アーラで未来の演奏家プロジェクトコンサート
令和8年	1月29日	中日新聞	可児・旭小に優しい響き
令和8年	1月29日	岐阜新聞	旭小　卒業生長坂さんら演奏会
令和8年	2月3日	中日新聞	「第二の故郷」でウィーンの調べ
令和8年	2月20日	中日新聞	28日と来月1日　可児・アーラで市民ミュージカル
令和8年	2月26日	岐阜新聞	市民ミュージカル総仕上げ 可児のアーラで28日、3月1日上演
令和8年	3月6日	中日新聞	可児・アーラで8日　演奏家2人コンサート
令和8年	3月10日	岐阜新聞	可児市でチャリティー公演

7　アーラフレンドシップ会員集計表

令和8年3月31日現在

（１）地域別集計表　　（単位：人）

岐阜県	令和6年度	令和7年度	増減
可児市	7,167	7,465	298
美濃加茂市	1,371	1,452	81
多治見市	1,579	1,678	99
加茂郡	993	1,025	32
可児郡	623	655	32
各務原市	650	702	52
岐阜市	588	679	91
土岐市	362	395	33
関市	356	384	28
瑞浪市	94	114	20
大垣市	88	106	18
美濃市	44	46	2
中津川市	94	103	9
恵那市	53	67	14
その他	384	510	126
岐阜県計	14,446	15,381	935

愛知県	令和6年度	令和7年度	増減
名古屋市	1,351	1,501	150
犬山市	606	635	29
春日井市	319	349	30
江南市	126	142	16
一宮市	191	207	16
小牧市	165	186	21
その他	1,346	1,504	158
愛知県計	4,104	4,524	420
			0
他県計	1,807	1,969	162
合計	20,357	21,874	1,517

（２）男女別集計表　　（単位：人）

	令和6年度			令和7年度				増減		
年齢構成	男	女	計	男	女	計	構成比	男	女	計
0～9歳	4	3	7	4	4	8	0.04%	0	1	1
10～19歳	29	66	95	30	72	102	0.47%	1	6	7
20～29歳	143	375	518	155	398	553	2.53%	12	23	35
30～39歳	469	1,183	1,652	474	1,223	1,697	7.76%	5	40	45
40～49歳	1,096	2,845	3,941	1,103	2,922	4,025	18.40%	7	77	84
50～59歳	1,596	3,028	4,624	1,701	3,392	5,093	23.28%	105	364	469
60～69歳	2,030	2,691	4,721	2,153	3,034	5,187	23.71%	123	343	466
70～79歳	1,647	1,757	3,404	1,799	1,945	3,744	17.12%	152	188	340
80～89歳	541	635	1,176	592	635	1,227	5.61%	51	0	51
90歳以上	84	135	219	93	144	237	1.08%	9	9	18
合計	7,639	12,718	20,357	8,104	13,769	21,873	100.00%	465	1,051	1,516

Ⅳ　施設概要

可児市文化創造センターａｌａ施設概要

■施設の規模　敷地面積　35,344.54 ㎡
建築面積　 8,743.29 ㎡
延床面積　18,410.87 ㎡
構造　　鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
駐車台数　437 台　一般 388 台、身障者用４台
関係者用 21 台（うち大型用４台）、身障者用３台
レストラン　一般 19 台、身障者用２台

■施設の特色　二つの多目的ホールと様々な文化創造空間・練習施設を持ち、建設・運営に市民参加を取り入れた総合文化施設

■客席収容人数

主劇場（宇宙のホール）

客席総数	1,019 席
	１階席　691 席
	２階席　161 席
	３階席　167 席
オーケストラピット使用時	876 席
	１階席　548 席
	２階席　161 席
	３階席　167 席

この他に車椅子席４席

小劇場（虹のホール）

客席総数	311 席
	１階席　263 席
	２階席　48 席
スラストステージ使用時	221 席
	１階席　173 席
	２階席　48 席

この他に車椅子席２席

■諸室

部屋	面積等
音楽ロフト	約 196 ㎡
演劇ロフト	約 210 ㎡
美術ロフト	約 238 ㎡
演劇練習室	約 88 ㎡
映像シアター	約 115 ㎡
水と緑の広場	約 3,000 ㎡
音楽練習室①	約 27 ㎡
音楽練習室②	約 20 ㎡
音楽練習室③	約 20 ㎡
ギャラリー	約 61.5 ㎡
木工作業室	約 70 ㎡
ワークショップルーム（洋室）	約 100 ㎡
ワークショップルーム（和室）	約 52 ㎡
研修室	約 48 ㎡
レセプションホール	約 235 ㎡
会議室	約 20 ㎡
控室	約 13.5 ㎡

KANI PUBLIC ARTS CENTER *aLa*

公益財団法人 可児市文化芸術振興財団
アニュアルレポート2025

発　行：公益財団法人可児市文化芸術振興財団
〒509−0203　岐阜県可児市下恵土3433番地139
TEL：0574−60−3311　FAX：0574−60−3312
https：//www.kpac.or.jp
発行日：令和８年８月